

日本育種学会 第116回講演会プログラム

2009年秋季 北海道大学

大会本部 (TEL: 080-6066-4737 期間中のみ)

9月24日 (木)	午後	幹事会 15:00-18:00 (百年記念会館: 大会議室)						
		第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場
		理学部大講堂	文系共同講義棟8	文系共同講義棟1	文系共同講義棟2	文系共同講義棟5	文系共同講義棟6	W棟 W203
9月25日 (金)	午前	抵抗性・耐性 101-112 8:30-11:30	ゲノム解析・DNAマーカー 201-213 8:30-11:45	ゲノム解析・DNAマーカー 301-313 8:30-11:45	品質成分 401-412 8:30-11:30	遺伝資源・系統分化 501-512 8:30-11:30	発生 601-612 8:30-11:30	
	午後	ポスター1日目 12:00-13:30 (文系共同講義棟2階ホール、W棟2階ホール、W201、W202)						
		52回シンポジウム 14:00-18:00						
		I. RNAサイレンシング研究の新展開とその育種的利用に向けた展望 (第1会場、理学部大講堂) II. ムギ類の育種—重要遺伝子—ゲノム (第2会場、文系共同講義室8) III. 北海道水稲育種における「きらら397」以降の新展開と今後の展望 (農学部大講堂)						
		懇親会 19:00-21:00 (京王プラザホテル札幌)						
9月26日 (土)	午前	抵抗性・耐性 113-124 8:30-11:30	ゲノム解析・DNAマーカー 214-226 8:30-11:45	育種情報・データベース 314-319 8:30-10:00 品種育成・育種法 320-325 10:00-11:30	品質成分 413-423 8:30-11:15	遺伝資源・系統分化 513-524 8:30-11:30	発生 613-616 8:30-9:30 変異創成 617-624 9:30-11:30	増殖・生殖 701-712 8:30-11:30
	午後	ポスター2日目 12:00-13:30 (文系共同講義棟2階ホール、W棟2階ホール、W201、W202)						
		発生 125-136 14:00-17:00	ゲノム解析・DNAマーカー 227-238 14:00-17:00	品種育成・育種法 326-336 14:00-16:45	変異創成 424-435 14:00-17:00	遺伝資源・系統分化 525-532 14:00-16:00	変異創成 625-633 14:00-16:15	増殖・生殖 713-723 14:00-16:45
		グループ研究集会 18:00 - 20:00 (W棟3階会議室、他)						
9月27日 (日)	午後	市民公開シンポジウム 14:00-17:00 (北海道大学学術交流会館講堂) 「私たちの生活と品種改良—北海道農業の底力」 主任: 飯澤理一郎 (北海道大学)、三浦秀穂 (帯広畜産大学)、阿部純 (北海道大学) 1 北海道における作物育種の進展 三分一敬 (北農会会長) 2 北海道農業のブランド力の強化と作物育種への期待 竹林孝 (十勝支庁長) 3 先進国から学ぶ多様な農業モデルとその共存 立川雅司 (茨城大学准教授) 4 育種とはそもそもどのようなこと? 大滝悦子 (北海道生活協同組合連合会常務理事) 5 総合討論						

1日目(9月25日)午前

9月25日	第1会場(理学部大講堂)	第2会場(文系共同講義棟B)	第3会場(文系共同講義棟1)
8:30	◆座長 下坂悦生(北農研) 101 コムギの高温および低温に対する抵抗性の品種間差異 ○高田寛之(北海道農業研究センター)	◆座長 呉健忠(生物研) 201 超高速シーケンサーを活用したイネのトランスクリプトーム解析 ○水野浩志1・川原喜浩2・坂井寛章2・大野陽子1・金森裕之3・山形晴美3・伊川浩司3・伊藤剛2・松本隆1(1. 生物研植物ゲノムユニット2. 生物研情報研究ユニット3. (社)農林水産先端技術研究所)	◆座長 宮武宏治(野菜茶試) 301 <i>Brassica rapa</i> における形態形質のQTL解析 ○久保中央1,2・齊藤誠範1・塚崎光3・近藤友宏4・松元哲3・平井正志1,2(1. 京都府大院生命環境2. 京都市資セ3. 野菜茶業研究所4. 日本農林社)
8:45	102 タルホコムギと合成パコムギの幼苗におけるABA感受性と乾燥耐性の多様性 ○倉橋夢人・寺嶋彰弘・宅見薫雄(神戸大農学)	202 イネ転移因子の爆発的増殖がもたらす遺伝子制御網への影響 ○内藤健1,2・F. Zhang1・築山拓司2・斉藤大樹2・奥本裕2・S. Wessler1・谷坂隆俊1(1. 京大院農学2. ジョージア大植物科学)	302 <i>Brassica rapa</i> と <i>Arabidopsis thaliana</i> の比較連鎖地図とその農業形質QTLにおける遺伝子推定への利用 ○李鋒・北柴大泰・西尾剛(東北大学大学院農学研究科)
9:00	103 乾燥ストレス条件下で異なる収量性を示す合成六倍体コムギ系統における吸水能力の比較 ○森正彦1,2・稲垣正典1,2・N. Miloudi1(1. 国際乾燥地農業研究センター2. 国際農林水産業研究センター)	203 イネユビキチン様タンパク質RURM1の活性化酵素RUBA4の同定 ○中田有美・築山拓司・奥本裕・寺石政義・谷坂隆俊(京大院農)	303 パレイシヨ野生6倍種 <i>Solanum demissum</i> の普通パレイシヨへの連続戻し交雑における染色体の伝達 ○小野聖二郎・保坂和良(神戸大食資源センター)
9:15	104 オヒルギ遺伝子を導入した耐塩性シロイヌナズナの解析 ○多田雄一1・深山真史1,2(1. 東京工科大応用生物2. AIST)	204 イネ品種「C8005」および「蒙古稻」の全ゲノム配列再解析 ○松村英生1・阿部陽2・木内豊2・寺内良平1(1. 岩手工研2. 岩手県農研センター)	304 “Prick-n-PCR”; DNA抽出を省略した果樹の簡易PCR法 ○太田智1・矢野加奈子1・栗田恭伸2・喜多正幸1・清水徳朗1・根角博久1,3(1. 果樹研カンキツ研究興津拠点2. 愛知県農総試園芸研究部3. 近中四農研四国センター)
9:30	105 イソントールリン酸合成酵素の過剰発現による塩ストレス耐性及びバイオマスの向上 ○古賀亘・宮本正薫・吉田薫(東大農学生命科学)	◆座長 松村英生(岩手工研) 205 イネ出穂期及び収量性に関連する機能遺伝子領域のゲノム動態から分かること ○呉健忠1・山根弘子2・伊藤友子2・石久保春美2・金森裕之2・伊川浩司2・井澤毅1・佐々木卓治1・松本隆1(1. 生物研植物ゲノム研究ユニット2. STAFF研)	◆座長 白澤健太(かずさDNA研) 305 環境ストレスがダイコンのミトコンドリアゲノム構造ならびにSSS関連核遺伝子の発現に及ぼす影響 ○小嶽佑太・山岸博・寺地徹(京産大工)
9:45	◆座長 黒木慎(北農研) 106 イネの誘導的通気組織形成に関わる分子機構の解析 ○山内卓樹1・塩野克宏1・安彦友美1・I. Rajhi1・高牟礼逸朗2・堤伸浩1・中岡幹生1・加藤清明3(1. 東大農学生命科学2. 北大農研3. 帯広畜産大)	206 遺伝的背景がプラシノステロイド変異体の表現型に及ぼす影響 ○坂本知昭1・北野英己2(1. 名大高等研究院2. 名大生物機能開発)	306 ダイコン連鎖地図構築と根の肥大に関するQTL解析 ○北柴大泰1・齋藤雅子1・阿部ゆかり1・伊藤豊彰1・宇野野1・藤井浩2・西尾剛1(1. 東北大学農学研究科2. 農研機構果樹研究所)
10:00	107 イネのABCトランスポーターRCN1は耐湿性獲得に重要な根への効率的酸素運搬に関与する ○中村元昭1・塩野克宏1・安藤美保1・松尾優一1・土反伸和2・藤本優1・高橋宏和1・高牟礼逸朗3・矢崎一史2・堤伸浩1・中岡幹生1・加藤清明4(1. 東大農学生命科学2. 京大生存圏研究所3. 北大農研4. 帯広畜産大)	207 イネの種子長に關する遺伝子座GS3の多様性 ○藤野典子1・H. Jiang2,3・久保貴彦1,4・松本隆5・金森裕之6・S. McCouch2・吉村淳1・土井一行1,7(1. 九大院農2. コーネル大3. Chengdu Inst. Biol., CAS4. 遺伝研5. 生物研6. STAFF研7. 名大院生命農学)	307 ダイコンにおける連鎖地図作成及び形態形質のQTL解析 ○橋田友子1・中辻諒一1・久保中央1,2・松元哲3・藤村達人4・平井正志1,2(1. 京都府大院生命環境2. 京都市資セ3. 野菜茶業研究所4. 筑波大院生命環境)
10:15	108 イネ根表面のiron plaque形成に関する突然変異体スクリーニング ○松本公佑1・清水顕史1・鷲見知宏1・長谷川博1・落合久美子2・間藤徹2・谷坂隆俊2・奥本裕2(1. 滋賀県大環境科学2. 京大院農)	208 不良環境下における浮イネの環境適応性の遺伝学的解析 ○永井啓祐1,2・服部洋子1・古川静佳1・松本隆3・呉健忠3・北野英己1・松岡信1・芦荻基行1(1. 名大生物機能2. 日本学術振興会 特別研究員3. 生物研)	308 シロイヌナズナミトコンドリアでのエディティングに關するP subfamily PPRタンパク質遺伝子の同定 ○洞庭葉子1・上田実1,2・上田雅美3・和田明3・門脇光一4・堤伸浩1(1. 東大農学生命科学2. 京大院・理3. 吉田生物研究所4. 生物研)
10:30	109 栽培および野生イネにおける生育初期の低温抵抗性に関する遺伝解析 ○時園佳朗1・A. Baruah1・石郷岡典子1・安達美江子1・小齋恭代1・佐野芳雄1・大西一光1,2(1. 北大院農2. 帯広畜産大)	209 浮イネ関連遺伝子 <i>Snorkel1</i> および <i>Snorkel2</i> の機能解析 ○服部洋子1・永井啓祐1・古川静佳1・宋献軍1・榎原均2・松岡信1・森仁志3・芦荻基行1(1. 名大生物機能2. 理研 植物科学センター3. 名大院生命農学)	309 シロイヌナズナ <i>MEF2Q</i> mitochondrial editing factor 20)βラロゲ遺伝子が關するミトコンドリアRNAエディティングサイトの同定 ○上田実1,2・洞庭葉子1・上田雅美3・和田明3・門脇光一4・堤伸浩1(1. 東大農学生命科学2. 京大院・理3. 吉田生物研究所4. 生物研)
10:45	110 ダイズにおけるアルカリ塩耐性QTLの同定 Do DucTuyen・○許東河(国際農研)	◆座長 築山拓司(京大) 210 米ぬかビタミンEのトコトリエノール含量に關するQTL解析 ○村田和優1・P. Sookwong2・木村俊之3・仲川清隆2・柴田央2・木村映一3・宮澤陽夫2(1. 富山農総技2. 東北大院農3. 東北農研)	◆座長 那須田周平(京大) 310 CSSLを利用したナス単為結果性遺伝子群の詳細マッピングとその量的効果の評価 ○宮武宏治・齋藤猛雄・根来里美・山口博隆・布目司・大山映男・福岡浩之(農研機構野菜茶研)

1 日目 (9月25日) 午前

第4会場 (文系共同講義棟 2)	第5会場 (文系共同講義棟 5)	第6会場 (文系共同講義棟 6)	第7会場 (W203)	9月25日
<p>◆座長 草場信 (広島大)</p> <p>401 イネ粉質突然変異米の製粉特性と製パン性の解析 ○芦田かなえ・飯田修一・荒木悦子・安井健(農研機構・近畿中国四国農業研究センター)</p> <p>402 西日本向き多収米品種クサノホシおよびホニアオバのグルテン添加米粉パン適性の検討 ○荒木悦子・松下景・飯田修一(近畿中国四国農業研究センター)</p> <p>403 アミロース含量、アミロペクテン構造が異なる準同質遺伝子系統を用いた米粉パンの製パン特性 ○青木法明・梅本貴之・鈴木保宏(独農研機構 作物研究所)</p> <p>404 食味官能評価と理化学特性からみた北海道米品種の食味向上 ○木下雅文1・柳原哲司2・佐藤毅2・沼尾吉則2(1. 道立中央農業試験場2. 道立上川農業試験場)</p>	<p>◆座長 福田普通 (国際農研)</p> <p>501 コシヒカリは2つのタイプに分けられる 堀田夕夏1・○石黒聖也1・橋草2・内藤聡3・高牟礼逸朗1・佐野芳雄1・貴島祐治1(1. 北大院農2. 株式会社 日本同位体分析研究所3. 株式会社 消費経済研究所)</p> <p>502 香り米品種の香りに関する遺伝学的研究 ○m. vazirzarjani・Chau thianh thy・平田颯(東京農工大・院、農学)</p> <p>503 赤米遺伝子ハプロタイプからみたインド型起源の考察 ○石川隆二(弘大農学生命科学)</p> <p>504 アジア全体のコアコレクション対カンボジア国内野生イネの葉緑体ゲノムの多様性評価 ○本多剛志1・ハオイン1・中村郁郎2・佐藤雅志3・佐藤洋一郎4・石川隆二1(1. 弘大農学生命科学2. 千大院園芸学3. 東北大院生命科学4. 地球研)</p>	<p>◆座長 小松田隆夫 (生物研)</p> <p>601 イネ <i>DROOPING LEAF (DL)</i> 遺伝子の機能と葉の中肋形成 ○大森良弘・平野博之(東大・院理)</p> <p>602 葉序を規定するイネDEC遺伝子の単離 ○伊藤純一・榊原均2・長戸康郎1(1. 東大農学生命科学2. 理研植物科学センター)</p> <p>603 イネの初期生育に異常を示す <i>asy</i> 変異体の解析 ○細木渉・伊藤純一・長戸康郎(東大農学生命科学)</p> <p>604 イネの外穎と内穎の形成に関わる遺伝子群の解析 ○加藤丈晴1・安部優樹1・北川佳名子1・清水かな恵1・安藤露2・河野いつみ2・矢野昌裕3・北野英己4・岩崎行玄1(1. 福井県大生物資源2. STAFF研3. 生物研4. 名大生物機能)</p>		8:30
<p>◆座長 森野和子 (中央農研)</p> <p>405 イネスターチンターゼ(SS)IIIa/SSIVb二重変異体の胚乳デンプンの性質 ○豊澤佳子・伊藤るみ子・吉田真由美・中村保典・藤田直子(秋田県大生物資源)</p> <p>406 イネ <i>sugary-1</i> 変異体が蓄積するフィトグリコーゲンの構造を改変させたイネの作出 ○藤田直子・鈴木沙知・内海好規・豊澤佳子・中村保典(秋田県大生物資源)</p> <p>407 イネ老化学に現れる新規ルテイン誘導体・ルテイン 3-アセテートの生成調節 ○草場信1・眞岡孝至2・森田寛平3・高市真一4(1. 広島大院理2. 生産開発研3. 生物研放牧場4. 日本医科大学)</p> <p>408 我が国において栽培される主要なイネ系統における銅、鉄、亜鉛、マンガン吸収の相関について ○吉原利一・後藤文之・庄子と博・橋田慎之介(電中研環境科学)</p>	<p>◆座長 石川隆二 (弘前大)</p> <p>505 タルホコムギ集団の遺伝的構造の解析 ○水野信之1・山崎将紀2・松岡由浩3・河原太八4・宅見薫雄1(1. 神戸大農学2. 神戸大食資源教育センター3. 福井県大生物資源4. 京都大学農学)</p> <p>506 分布域の拡大に伴うタルホコムギの形態の変化 ○宅見薫雄1・西岡恵美1・森広晴彦1・秦野心志1・松岡由浩2(1. 神戸大農学2. 福井県大生物資源)</p> <p>507 アフガニスタンのコムギ在来品種の遺伝的多様性 VI (硬軟性の解析) ○寺沢洋平1,2・高田兼則3・河原太八4・平野久1・笹隈哲夫1・笹沼恒男2(1. 横浜市立大学大学院国際総合科学研究科2. 山形大農3. 近中四農研4. 京大院農)</p> <p>508 Uゲノムをもつエギロプス属の多起源性解明のためのUゲノム特異的配列U31のdCAPS解析 ○村上久遠1・河原太八2・阿部利徳1・笹沼恒男1(1. 山形大農2. 京大院農学)</p>	<p>◆座長 カ石和英 (岡山大)</p> <p>605 イネの穂と小穂の形態に異常を示す変異体の発生遺伝学的解析 ○吉田明希子・平野博之(東大院理)</p> <p>606 イネ <i>rod-like lemma</i> 変異体にみられる小穂器官形成異常の解析 ○鳥羽太陽1・寿崎拓哉2・平野博之1(1. 東大院・理2. ルブレヒトールカルス大学 ハイデルベルグ)</p> <p>607 イネの胚珠分化に異常を示す <i>osmads13</i> 変異体の解析 ○山本辰一郎1・倉田のり1,2・野々村賢一1,2(1. 遺伝研2. 総研大生命科学)</p> <p>608 イネの穂形成に関与する <i>Fluff inflorescence (FLI)</i> 遺伝子の機能 ○川勝恭子1・長戸康郎2・井澤毅1(1. 生物研2. 東大農学生命科学)</p>		9:30
<p>◆座長 藤田直子 (秋田県立大)</p> <p>409 Comparison of soluble sugar and free amino acid concentration among rice cultivars. ○J. Kamara・笹沼恒男・阿部利徳(山形大学農学部)</p> <p>410 多肥栽培した飼料米品種・系統の玄米の粗蛋白質含量および粗脂肪含量 ○加藤浩1・勝俣昌也2・太田久稔1・石田藍子2・京谷隆博2・中島一壽2(1. 作物研2. 畜産草地研)</p>	<p>◆座長 河原太八 (京大)</p> <p>509 講演取り消し</p> <p>510 New Rice for Africa (NERICA) 品種の遺伝・育種学的特徴 5) クラベリマ由来の染色体と形質 ○福田普通1・柳原誠司1・常松浩史2・生井幸子1・小仁所邦彦3・富久尾歩1・川崎顕子1・平江雅宏4・服部誠5(1. 国際農研2. 作物研3. 長野県4. 北陸研セ5. 生物研)</p>	<p>◆座長 平野博之 (東大)</p> <p>609 栽培オオムギにおける鱗被の形態的変異 ○王寧1・本多一郎2・小松田隆夫1(1. 農業生物資源研究所2. 野菜茶業研究所)</p> <p>610 オオムギ属における穎花の開閉性に関する種間変異 ○石原倫光1・王寧2・小松田隆夫2・掛田克行1(1. 三重大院生物資源学2. 生物研)</p>		10:30
				10:45

9月25日	第1会場（理学部大講堂）	第2会場（文系共同講義棟8）	第3会場（文系共同講義棟1）
	◆座長 西尾善太（北農研）		
11:00	111 コムギのマイコキシン低蓄積性QTL候補遺伝子のマッピング ○丹羽紗也佳1・菊地理絵2・半田裕一2・坂智広1(1. 横浜市大木原生研2. 農業生物資源研)	211 <i>Oryza sativa</i> およびその近縁野生種 <i>O. nivara</i> 間の交雑後代における新奇F ₂ 花粉不稔遺伝子座の同定 ○K. Win・宮崎雄太・土井一行・安井秀・山形悦透・吉村淳(九大院農)	311 トマトゲノム情報を利用したゲノムワイドSSRマーカーセットの開発 ○福岡浩之1・大山暁男1・白澤健太2・根来里美1・佐藤修正2・宮武宏治1・布目司1・山口博隆1(1. 農研機構・野菜茶研2. かずさDNA研究所)
11:15	112 マイコキシン低蓄積性に関するコムギおよび赤かび病菌の遺伝子発現解析 ○宮崎達也1・菊地理絵2・半田裕一2・坂智広1(1. 横浜市大木原生研2. 農業生物資源研)	212 水稲品種コシヒカリと日本晴の染色体断片置換系統群の作出 ○野々上慈徳1・堀清純2・小野望1・松原一樹2・山内歌子2・阿部陽3・竹内善信4・矢野昌裕2(1. 農林水産先端研2. 生物研3. 岩手農研セ4. 作物研)	312 ビールの泡持ちに関連する大麦育種DNAマーカーの開発 ○飯牟礼隆1・木原誠1・伊藤一敏2・林勝弘1・佐藤和広3・武田和義3(1. サッポロビールバイオ研究開発部2. サッポロビール価値創造フロンティア研究所3. 岡山大学資源生物科学研究所)
11:30		213 コシヒカリと日本晴の染色体断片置換系統群から見出された穂発芽耐性QTL ○堀清純1・杉本和彦1・野々上慈徳2・小野望2・松原一樹1・山内歌子1・阿部陽3・竹内善信4・矢野昌裕1(1. 生物研2. 農林水産先端研3. 岩手農研セ4. 作物研)	313 イネ科におけるオオムギ六条性遺伝子の進化 ○佐久間俊1,2・M. Pourkheirandish2・松本隆2・木庭卓人1・小松田隆夫2(1. 千葉大院園芸学研究所2. 農業生物資源研究所)

1日目（9月25日）午後			
12:00	ポスター 1日目 12:00-13:30 奇数番号12:00-12:45, 偶数番号12:45-13:30 (文系共同講義棟2階ホール、W棟2階ホール、W201、W202)		
14:00	シンポジウムⅠ (第1会場、理学部大講堂)	シンポジウムⅡ (第2会場、文系共同講義棟8)	シンポジウムⅢ (農学部大講堂)
18:00	RNAサイレンシング研究の新展開とその育種的利用に向けた展望 主任：千田峰生（弘前大）・金澤章（北大）	ムギ類の育種—重要遺伝子—ゲノム 主任：小松田隆夫（生物研）・那須田周平（京大）・佐藤和広（岡山大）	北海道水稲育種における「きらら397」以降の新展開と今後の展望 主任：岩間和人（北大）・谷坂隆俊（京大）
1	1 RNAサイレンシングと有用形質 千田峰生（弘前大学農学生命科学部）	1 ゲノムに基づくムギ類育種 佐藤和広（岡山大学資源生物科学研究所）	1 水稲の寒地への展開 谷坂隆俊（京大農学研究科）
2	2 宿主の防御機構とウイルスの感染戦略 奥野哲郎（京都大学大学院農学研究科）	2 コムギ赤かび病抵抗性育種への遺伝子およびゲノム情報の利用 坂智広（横浜市立大学木原生物学研究所） 半田裕一（農業生物資源研究所）	2 北海道における水稲品種開発 1) 「きらら397」から「ゆめびりか」への展開 佐藤毅（道立上川農試）
3	3 イネのゲノム進化におけるRNAサイレンシングの役割 佐藤豊・野坂美鈴（名古屋大学大学院生命農学研究科）	3 北海道におけるコムギ穂発芽抵抗性育種とゲノム研究との接点 席田淳史（ホクレン農業総合研究所）	2) 収量性向上への展望 清水 博之（北農研）
4	4 シロイヌナズナの葉の形作り： 低分子RNAの役割を中心として 町田泰則・上野宜久（名古屋大学大学院理学研究科） 岩崎まゆみ・岩川秀和・町田千代子（中部大学 応用生物学部）	4 高性能コムギ品種の育成 吉村康弘（道立北見農試作物研究部麦類科）	3 北海道における水稲収量・品質の地域・年次間変動と安定栽培技術 田中英彦（道立中央農試）
5	5 育種におけるクロマチン修飾： 減数分裂期組換えとのかかわり 土生芳樹（農業生物資源研究所）	5 NBRP・コムギ DNAマーカーの多型調査プロジェクト 那須田周平・新田みゆき（京大農学応用生物科学）	4 水稲遺伝資源の活用と今後の展望 -海外における水稲育種の現状および 新たな遺伝資源利用の可能性 - 小林伸哉（国際イネ研究所）
6	6 RNAサイレンシングの誘導による遺伝子機能解析と形質発現制御 金澤章（北海道大学大学院農学研究科）	6 イネ科作物ゲノム情報の統合化とその利用 持田恵一・篠崎一雄（理研PSC）	5 総合討論 司会者：上原泰樹（北農研） 柳沢樹（道立中央農試）
19:00	懇親会 19:00-21:00（京王プラザホテル札幌）		

第4会場（文系共同講義棟2）	第5会場（文系共同講義棟5）	第6会場（文系共同講義棟6）	第7会場（W203）	9月25日
<p>411 エダメメ子実形質の違いによるデンプンおよび糖含量の差異 ○小田信博・笹沼恒男・阿部利徳(山形大学農)</p> <p>412 薬用植物カンゾウ(甘草, <i>Glycyrrhiza uralensis</i>)の高品質系統の育成:グリチルリチン含有量の個体間変異 ○高上馬希重1・浅津サンドラなおみ1・澤聡子1・関崎春雄1・林茂樹2・柴田敏郎2・山本豊3(1. 北海道医療大・薬2. 医薬基盤研・薬用植物資源研究センター・北海道3. 栃本天海堂)</p>	<p>511 野生イネAAゲノム種における細胞質多様性程度の比較 ○ハオイン1・石井尊生2・石川隆二1(1. 弘大農学生命科学2. 神大院農学)</p> <p>512 アジア地域のコムギ在来品種に見出された新規な種子硬質遺伝子型の特徴とその分布 ○池田達哉1・叢花2・高田兼則1・鈴木孝子3(1. 近中四農研2. 中国新疆農業科学院農作物品種資源研究所3. 道立中央農業試験場)</p>	<p>611 小花分裂組織の異時的形成が2倍体、4倍体、6倍体コムギの小穂当たりの着粒数を決定する ○村井耕二1・漆川直希2・金城博子1・嶋田早苗1・宅見薫雄3(1. 福井県大生物資源2. 現 岡大資生研3. 神戸大院農)</p> <p>612 リンビが雄ずいへと転換したオオムギ5本筋変異体 <i>five anthers</i> の解析とクラスA機能遺伝子の単離に向けてのアプローチ ○漆川直希1・村井耕二2・武田真1(1. 岡山大学資生研2. 福井県立大学生物資源)</p>		<p>11:00</p> <p>11:15</p> <p>11:30</p>

1日目 (9月25日) 午後			
<p>ポスター1日目 12:00-13:30 奇数番号12:00-12:45, 偶数番号12:45-13:30 (文系共同講義棟2階ホール、W棟2階ホール、W201、W202)</p>			<p>12:00</p>
			<p>14:00</p>
			<p>18:00</p>
<p>懇親会 19:00-21:00 (京王プラザホテル札幌)</p>			<p>19:00</p>

2日目(9月26日)午前

9月26日	第1会場(理学部大講堂)	第2会場(文系共同講義棟B)	第3会場(文系共同講義棟1)
8:30	<p>◆座長 早野由里子 (北農研)</p> <p>113 一遺伝子系統群を用いた日本産イネいもち病菌菌系の特徴づけ ○川崎顕子1・林長生3・野田孝人1・福田普通1(1. 国際農研2. 鳥取大連合農3. 生物研)</p>	<p>◆座長 春島嘉章 (遺伝研)</p> <p>214 黄ダイズにおけるGmIRCHS1に由来するCHS二本鎖RNAの組織特異性に関する解析 ○倉内佑1・千田峰生2(1. 岩手大院連合農学研究所2. 弘前大農学生命科学)</p>	<p>◆座長 渡辺啓史 (生物研)</p> <p>314 トウガラシにおける細胞雄性不稔に関するミトコンドリア遺伝子の構造分析及び発現 ○Y. Shin・S. Wang・平田豊(東京農工大農農)</p>
8:45	<p>114 フィリピン産標準判別いもち病菌菌系に対して広い抵抗性スペクトラムを示す新規抵抗性遺伝子の同定 ○小出陽平1・Telebanko-YanoriaMary Jeanie1・福田普通2・小林伸哉1,2(1. 国際稲研究所2. 国際農林水産業研究センター)</p>	<p>215 黄ダイズにおける CHS siRNAs の組織特異性に関する解析 ○松本拓郎・千田峰生(弘前大農学生命科学)</p>	<p>315 コシヒカリを構成する在来品種由来の系譜ハプロタイプの解析とその現代栽培イネ品種への伝達 ○山本敏夫・米丸淳一・長崎英樹・江花薫子・中嶋舞子・柴谷多恵子・矢野昌裕(生物研)</p>
9:00	<p>115 判別品種として一遺伝子系統群を用いたインドネシア産イネいもち病菌菌系の病原性評価 ○S. Santoso1・N. Anggiani2・S. Suwarno2・川崎顕子1・野田孝人1・林長生3・福田普通1(1. 国際農研2. インドネシア稲研究センター3. 生物研)</p>	<p>216 低温着色感受性および抵抗性ダイズ品種間に見出されたGmIRCHS領域の構造差異 葛西厚史1・大西志全2・船附秀行3・○千田峰生1(1. 弘前大農学生命科学2. 北海道立中央農業試験場3. 北海道農研)</p>	<p>316 トウモロコシゼインの細胞内RNA局在に關与するシス制御配列の解析とRNA局在を利用したイネ胚乳細胞におけるタンパク質局在及び蓄積量制御の試み ○篤田治彦1・杉野彩1・N. Crofts1,2・A. Crofts1,2・T. Okita1・小川雅広3・濱田茂樹4(1. ワシントン州立大生物化学研2. 国際教養大3. 山口県立大生大4. 北大院農)</p>
9:15	<p>116 ビオチン結合性タンパク質タマジンの発現によるいもち病抵抗性イネの作出 ○高倉由光・鈴木淳子・岡直美・塚本浩史・石田祐二(JT植物イノベーションセンター)</p>	<p>217 ダイズGmIRCHS領域の構造差異は低温着色抵抗性と強く関連づけられ選抜DNAマーカーとして有用である ○大西志全1・千田峰生2・葛西厚史2・船附秀行3・山崎敬之4・山口直矢5・三好智明5(1. 道立中央農業試験場2. 弘前大農学生命科学3. 北農研4. 道立北見農試5. 道立十勝農試)</p>	<p>◆座長 矢野健太郎 (明治大)</p> <p>317 日本産タケ連植物の遺伝育種学的研究XXVII. 伊豆諸島・神津島におけるイシヅチザサとその分布地点. ○村松幹夫(岡山大学 名誉教授)</p>
9:30	<p>◆座長 安井秀 (九大)</p> <p>117 イネ低分子量 GTPase OsRac1 は、オーキシン誘導性シボーター遺伝子 DR5::gus の発現を制御する ○森野和子1・田中栄爾2・古賀博則2・森真理3・島本功4・矢頭治1(1. 農研機構 中央農研・北陸2. 石川県立大生物資源環境学3. 滋賀県庁4. 奈良先端大・バイオ)</p>	<p>218 ダイズ1遺伝子座近傍のゲノム構造変異と耐冷性QTL ○船附秀行1・池田達哉2・千田峰生3・大西志全4・夏正俊5・原田久也5・中本有美1・小松邦彦1・石本政男1・善多科啓介2(1. 北海道農研2. 北大院農3. 弘前大農学生命科学4. 北海道立中央農業試験場5. 生物研)</p>	<p>318 ImageJによる心白標準画像の自動作成 ○林祥希1・高原美規2(1. 長岡技術科学大学大学院・工2. 長岡技術科学大学・生物系)</p>
9:45	<p>118 セルトレイを利用した圃場におけるオオムギ雲形病抵抗性検定 ○山口修・伊藤誠治(中央農研北陸セ)</p>	<p>◆座長 福岡浩之 (野菜茶研)</p> <p>219 ダイズ高密度連鎖地図の構築 2. エンレイX PekingF2雑種集団の連鎖地図とWilliams 82ゲノムアッセンプリとの比較 ○加賀秋人1・清水武彦2・坪倉康隆1・町田佳代2・田畑哲之1・片寄裕一1・佐々木卓治1・原田久也1(1. 生物研2. STAFF研3. かずさDNA研)</p>	<p>319 植物プロモーターデータベースppdbの構築 ○山本義治1・佐藤直樹2・小保方潤一3,4(1. 岐阜大応用生物2. 東大総合文化3. 京都府立大生大環境4. 名大遺伝子)</p>
10:00	<p>119 テンサイの栄養生長期における根形態形質と根腐病抵抗性との関係 ○田口和憲・岡崎和之・阿部英幸(北海道農業研究センター)</p>	<p>220 フクユタカを片親とする2種RIL集団を用いた、ダイズ種子タンパク質含量の遺伝解析 ○佐山貴司1・黄太暎1・高橋将一2・中本有美1・小松邦彦1・船附秀行1・石本政男1(1. 北農研2. 九農研)</p>	<p>◆座長 山本敏夫 (生物研)</p> <p>320 自殖性作物のためのトランスジェニック雄性不稔性を用いた効率的循環選抜育種法 ○田中淳一(農林水産省技術会議事務局 現: 農研機構野菜茶業研究所)</p>
10:15	<p>120 プロトプラスト過剰の発現解析によるイネいもち病抵抗性遺伝子Pi-aの同定 ○神崎洋之1・奥山雄大2・吉田健太郎1・阿部陽3・松村英生1・斎藤宏昌1・曾根輝雄4・寺内良平1(1. 岩手生工研2. 科博・植物3. 岩手県農研セ4. 北大院農)</p>	<p>221 ダイズの収量性に寄与する種子粒重の遺伝要因の解析 ○加藤信1・佐山貴史2・湯本節三1・石本政男2・河野雄飛1・黄太暎2・中本有美2・菊池彰夫1(1. 東北農研2. 北農研)</p>	<p>321 永年性植物育種におけるゲノミックセレクションの有効性: スギ(<i>Cryptomeria japonica</i>)におけるシミュレーション研究 ○岩田洋佳1・林武司2・津村義彦3(1. 中央農研2. 生物研3. 森林総研)</p>

2日目(9月26日)午前

第4会場(文系共同講義棟2)	第5会場(文系共同講義棟5)	第6会場(文系共同講義棟6)	第7会場(W203)	9月26日
<p>◆座長 石本政男(北農研)</p> <p>413 ダイズにおける3つのγ-トコフェロールメチルトランスフェラーゼ遺伝子の特徴づけ ○M. Dwiyanti・山田哲也・阿部純・喜多村啓介(北大院農)</p> <p>414 ダイズDDMPサボニンの糖付加酵素に関連する候補遺伝子の推定 ○川崎翔太1・鎌田美希子1・山田哲也1・塚本知玄2・阿部純1・喜多村啓介1(1. 北大院農2. 若大院農)</p> <p>415 TILLING法によるダイズ突然変異体ライブラリーからのGmFAD3-2a変異体の単離 ○星野友紀・穴井豊昭(佐賀大学農学部)</p> <p>416 子葉緑ダイズ品種のSGR遺伝子座における遺伝的変異の解析 ○大橋栄美子1・草場信2・山田哲也1・喜多村啓介1(1. 北大院農2. 広島大理)</p>	<p>◆座長 加賀秋人(生物研)</p> <p>513 講演取り直し</p> <p>514 普通ソバにおける開花関連遺伝子領域の探索および日長反応性への寄与 ○原尚資1・岩田洋佳2・奥野真敏1・大澤良1(1. 筑波大院生環境2. 中央農研)</p> <p>515 サクラソウの異型花柱性に関するQTL解析 ○吉田康子1・上野真義2・本城正憲3・北本尚子4・永井美穂子5・鷺谷いづみ5・津村義彦2・大澤良1(1. 筑波大院生環境2. 森林総研3. 東北農試4. 岩手大農5. 東大農)</p> <p>516 SSRマーカー解析に基づく常緑性ツツジ九州野生集団の遺伝的構造と園芸品種群「江戸キリシマ」および「クルメツツジ」との関係 ○宮脇実桜1・倉重祐2・小林伸雄3・Jan De Riek4・半田高5・大澤良1(1. 筑波大院生環境科学2. 新潟県植物園3. 島根大生物資源科学4. ベルギー国立農林水産研究所5. 明治大農)</p>	<p>◆座長 安西弘行(茨城大)</p> <p>613 イネbZIP型転写因子RISBZ1とDOF型転写因子RPBFの種子発熱における補償作用および相互作用 ○川勝泰二1・山本将之1・東野(百瀬)悟1,2・保田浩1・高岩文雄1(1. 生物研2. 千葉大)</p> <p>614 コムギ種子休眠性の制御に関与する遺伝子の解析 ○カ石和英・松浦恭和・前川雅彦(岡山大学資生研)</p> <p>615 ダイズ種子貯蔵タンパク質βコングリニンαサブユニットの胚発生過程における不均等分布を決定づける転写制御を行うプロモーター領域の同定 ○井元勇介・山田哲也・喜多村啓介・金澤章(北大・院・農)</p> <p>616 低温発芽性遺伝子qLTG11のファインマッピング ○岩田夏子・藤野賢治(ホクレン)</p>	<p>◆座長 畠山勝徳(野菜茶所)</p> <p>701 イネ雄性生殖器官におけるsmall RNAの網羅的解析 ○藤岡智明1・諏訪部圭太2・矢野健太郎3・増子潤美1・金子美未1・小田晋1・鈴木亮輔1・加藤大貴3・鈴木純子3・牧野周4・前忠彦4・遠藤誠5・川岸万紀子5・鈴木剛6・渡辺正夫1,7(1. 東北大院生命科学2. 三重大生物資源3. 明治大農4. 東北大農5. 作物研6. 大阪教育大7. 北大大理)</p> <p>702 減数分裂の進行に必須のイネMEL2遺伝子はイネ科植物で保存されている 野々村賢一1,2・中野瞳子1・福地佐斗志3・永口真1・宮尾安基雄4・廣近洋彦4・倉田のり2,5(1. 遺伝研実験農場2. 総研大生命科学3. 遺伝研DDBJ4. 生物研5. 遺伝研植物遺伝)</p> <p>703 イネ核型雄性不稔突然変異の原因遺伝子の推定 ○汐海沙知子1・堀泰子1・北柴大泰1・西村実2・西尾剛1(1. 北大院農2. 生物研放育場)</p> <p>704 異なる種類の外殖片からカルスを通さないシュートの再生 ○Yin yinwei1・Khin ThidaMyint2・平田豊1(1. 東京農工大・院・農2. ミヤンマーイェゼン農業大学)</p>	8:30
<p>◆座長 中村洋(作物研)</p> <p>417 宇宙大麦の特性解析III. 宇宙環境に曝露した大麦種子の後代より醸造されたビール「Space Barley」の特性評価 ○木原誠1・保木健宏1・島瀬雅行2・林勝弘1・伊藤一敏3・O. Gusev4・M. Levinskikh5・V. Sychev5・杉本学6(1. サッポロビール(株)バイオ研2. サッポロビール(株)新価値開発部3. サッポロビール(株)価値創造フロンティア研4. 生物研5. ロシア科学アカデミー生物医学研6. 岡山大資生研)</p> <p>418 オオムギにおける種子特異的ポリフェノール酸化酵素遺伝子の単離と解析 ○武田真1・松木佳奈子2・天野里子2・水見英子1・野田和彦1・武田和義1(1. 岡大資生研2. 香川大農)</p> <p>419 オオムギにおける(1-3, 1-4)-B-D-グルカンレス突然変異体の原因遺伝子の特定 ○湯尾崇央1・塔野岡卓司2・山下優子1・武田真1(1. 岡山大資生研2. 作物研)</p> <p>420 オオムギ染色体導入コムギの機能ゲノム科学 III. ステロール生成関連遺伝子CYP710Aの分子遺伝学的解析 唐達偉1・川浦香奈子1・大山清2・橋之口裕美2・村中俊哉1・一色正之1・荻原保成1(1. 横浜市大木原生研2. 理研PSC)</p>	<p>◆座長 大澤良(筑波大)</p> <p>517 SSRマーカー多型に見る日本ダイズ近代品種の遺伝的変遷 ○黄太暎・佐山貴司・中本有美・小松邦彦・船附秀行・石本政男(北農研)</p> <p>518 アズキ近縁野生種に見出されたダイズシトセチンユウ抵抗性 ○青山聡1,2・串田篤彦3・友岡憲彦4・江川宜伸5・鈴木千賀1(1. 道立十勝農試2. 現・道立上川農試3. 北農研4. 生物研5. 国際農研・熱帯島嶼)</p> <p>519 ミヤコグサ野生系統におけるSSRマーカーおよび形態的特性を指標とした代表コレクションの整備 ○田中秀典1・甲斐彩友美2・橋口正嗣1・岩田洋佳3・明石良1(1. 宮崎大フロンティア2. 宮崎大農工総合研究科3. 中央農研)</p>	<p>◆座長 雑賀啓明(生物研)</p> <p>617 バイオマス生産に適した形質転換テンサイ作出の試み ○松平洋明1・藩衛鋒2・玉掛秀人3・安西弘行2・吉田みどり1(1. 北農研2. 茨城大遺伝子3. 北海道中央農試)</p> <p>618 アグロバクテリウム法を用いたブルーベリーの形質転換 ○粕谷晴之輔・安西弘行(茨城大遺伝子)</p> <p>619 伸長型PLBを用いたアグロバクテリウム法によるニコチオウランの形質転換 ○榎真一・高原美規(長岡技術科学大学生物系)</p> <p>620 活性酸素消去系酵素(APX/SOD)の遺伝子オベロンとして葉緑体に持つ組換えタバコの特徴付け ○山本裕範1・森田重人2・寺地徹1(1. 京産大2. 京都大院生環境)</p>	<p>◆座長 野々村賢一(遺伝研)</p> <p>705 マメ科植物におけるWUSCHEL遺伝子の冗長性と発現解析 ○上西園崇文1・大志田百1・髙橋瞬1・赤田辰治2(1. 弘大農学生命科学2. 弘大遺伝子)</p> <p>706 Brassica rapa種間不和合性に関するQTL解析 ○宇田川久史1・石丸洋次1,2・幸峰1・佐藤藤1,3・北柴大泰1・西尾剛1(1. 東北大院農2. ハルティン3. 生物研)</p> <p>707 Brassica oleraceaにおける高レベル自家不和合性に関するQTL解析 ○島山勝徳1・堀崎敦史2・田中紀史2・新倉聡2・石田正彦1・松元哲1(1. 野菜茶研2. 株式会社トーホク)</p> <p>708 リンゴS遺伝子座に連鎖するF-box遺伝子群の解析 ○南川舞1・角井宏行1・古藤田信博2・佐々英徳1(1. 千葉大院園芸2. 農研機構果樹研)</p>	8:45 9:00 9:15 9:30 9:45 10:00 10:15
	<p>◆座長 乙部千雅子(作物研)</p> <p>520 ダイズからソルマメへの浸透交雑に有効集団サイズや交雑率、適応度が及ぼす影響 ○北本尚子1・加賀秋人2・黒田洋輔2・大澤良3(1. 岩手大学農学部2. 生物資源研究所3. 筑波大院生環境科学)</p>			

9月26日	第1会場 (理学部大講堂)	第2会場 (文系共同講義棟 8)	第3会場 (文系共同講義棟 1)
10:30	<p>◆座長 田口和憲 (北農研)</p> <p>121 インド型品種ADRS21に由来するトイロウシカ抵抗性遺伝子<i>bph20(t)</i>と<i>Bph21(t)</i>に関する近似同質遺伝子系統の育成と耐虫性評価 ○屋良朝紀1・K. Myint1・P. Ngyuen2・吉村淳1・安井秀1(1. 九大院農2. Dept. Gen. Eng. Inst. Agriculture Genetics)</p>	<p>222 エダマメ未熟子実タンパク質のプロテオーム解析 ○小西省吾・藤野真美・笹沼恒男・阿部利徳(山形大農)</p>	<p>322 QTL解析像におけるQTL実相の反応性について ○石井卓朗1・矢野健太郎2・米澤勝衛3(1. 作物研2. 明治大農3. 京都産大工)</p>
10:45	<p>122 <i>Oryza glaberrima</i>が保有するツマグロヨコバイ抵抗性QTLの検出 ○緒方千佳・吉村淳・安井秀(九大院農)</p>	<p>◆座長 船附秀行 (北農研)</p> <p>223 ダイズ開花期関連遺伝子座<i>FT2</i>のマップベースクローニング ○渡辺啓史1・夏正俊1・秀島瑠満子2・坪倉康隆1・佐藤修正3・山中直樹4・加賀秋人1・片寄裕一1・田畑哲之3・穴井豊昭2・原田久也1(1. 生物研2. 佐賀大院農3. かずさDNA研4. 国際農研)</p>	<p>◆座長 田中淳一 (野菜茶研)</p> <p>323 量的形質の選抜方法の最適化に関する研究:最適化のための理論枠 ○矢野健太郎1・石井卓朗2・米澤勝衛3(1. 明治大・農2. 作物研3. 京都産大・工)</p>
11:00	<p>123 ダイズのハスモンヨウ抵抗性遺伝子の圃場における幼虫生息密度抑制効果 ○小松邦彦1・高橋将一2・大木信彦2・中澤芳則2(1. 北農研低温耐性2. 九冲農研)</p>	<p>224 リョクトウ栽培種と野生種との交雑に由来するBC,F,集団を用いた栽培化関連形質のQTL解析 ○伊勢村武久1・加賀秋人1・友岡憲彦1・田畑哲之2・P. Somta3・P. Srinives3・清水武彦4・舒宇剣1・D. Vaughan1(1. 生物研2. かずさDNA研3. カセサート大農4. 農林水産先端研)</p>	<p>324 高リグナン含有ゴマ新品種、黒ゴマ「ごまえもん」および白ゴマ「ごまひめ」の栽培特性 ○大瀧直樹1・星野次汪2・勝田真澄3・安本知子4・杉浦誠5・山田哲也1・佐川了2(1. 作物研2. 岩手大農3. 農林水産技術会議4. 中央農研5. 近中四農研)</p>
11:15	<p>124 野外カンキツ類におけるカンキツグリーンング病検定のためのPCR法高感度化 ○菊池悦男1・2・荒木朋洋2・斎藤彰1(1. 九冲農研2. 東海大学院農)</p>	<p>225 スギにおける核遺伝子型雑種不稔遺伝子のマッピング ○森口喜成1・二村典宏1・伊原徳子1・松本麻子1・斎藤真己2・平英彰3・篠原健司1・津村義彦1(1. 森林総研2. 富山森林研3. 元新潟大)</p>	<p>325 バレイショ育種における5種類の病虫害抵抗性検定用DNAマーカーを同時検出できるマルチプレックスPCR法の開発 ○森一幸1・2・向島信洋1・坂本悠1・中尾敬1・保坂和良3(1. 長崎県農林技術センター2. 神戸大院農3. 神戸大院農食資源センター)</p>
11:30		<p>226 植物ウイルスベクターを介して誘導される外来性遺伝子のプロモーター領域のメチル化状態と転写型ジーンサイレンシングの安定性 ○太田垣駿吾・河合文珠・増田税・金澤章(北大院農)</p>	

2日目 (9月26日) 午後			
<p>ポスター2日目 12:00-13:30 奇数番号12:00-12:45, 偶数番号12:45-13:30 (文系共同講義棟2階ホール、W棟2階ホール、W201、W202)</p>			
12:00			
13:30	第1会場 (理学部大講堂)	第2会場 (文系共同講義棟 8)	第3会場 (文系共同講義棟 1)
14:00	<p>◆座長 藤野賢治 (ホクレン)</p> <p>125 ダイズ開花期関連遺伝子 <i>GmphyA3</i> の多様性解析 ○坪倉康隆1・渡辺啓史1・金森裕之2・山形瑠美2・秀島瑠満子3・夏正俊1・佐藤修正4・中本有美5・山中直樹6・高橋良二7・石本政男5・穴井豊昭3・田畑哲之4・片寄裕一1・原田久也1(1. 生物研2. STAFF研3. 佐賀大農4. かずさDNA研5. 北農研6. 国際農研7. 作物研)</p>	<p>◆座長 千田峰生 (弘前大)</p> <p>227 日本水稲品種群を使ったアソシエーション解析 - <i>Semidwarf1</i>のDNA多型と稈長関連形質 ○吉岡拓磨1・出田収2・浅野賢治3・松岡信3・岩田洋佳4・江花薫子5・山崎将紀1(1. 神戸大院農食資源センター2. 近中四農研3. 名大生物機能4. 中央農研5. 生物研)</p>	<p>◆座長 勝田真澄 (作物研)</p> <p>326 二条オオムギにおける退色粒の検定法 塚崎守啓・○甲斐浩臣・高田衣子・古庄雅彦・馬場孝秀 (福岡県農業総合試験場)</p>
14:15	<p>126 コムギにおける日長反応性遺伝子<i>Ppd-1</i>の効果と相互作用 ○西田英隆1・吉田哲也1・松中仁2・明石由香利1・藤田雅也3・加藤謙司1(1. 岡山大院自然2. 農研機構・作物研3. 農研機構・九冲農研)</p>	<p>228 日本水稲品種群を使った出穂期のゲノムワイドアソシエーション解析 ○山崎将紀1・出田収2・吉岡拓磨1・岩田洋佳3・長崎英樹4・江花薫子4(1. 神戸大院農食資源センター2. 近中四農研3. 中央農研4. 農業生物資源研究所)</p>	<p>327 小麦新品種「さとのそら」の育成 ○高橋利和・大塚実・菅谷隆幸・折茂佐重樹・齊藤幸雄・成塚彰久(群馬県農業技術センター)</p>
14:30	<p>127 合成6倍体コムギにおけるタルコムギ由来 <i>Wheat FLOWERING LOCUS T (WFT)</i> 遺伝子の発現パターン ○藤原佑紀1・嶋田早苗1・宅見薫雄2・村井耕二1(1. 福井県大生物資源2. 神戸大院農)</p>	<p>229 配偶子致死遺伝子の抑制因子<i>Igc1</i>に関する染色体マッピング ○山野聡一1・新田みゆき1・辻本壽2・石川吾郎3・中村俊樹3・遠藤隆1・那須田周平1(1. 京大農学応用生物2. 鳥大農学3. 農研機構 東北農研)</p>	<p>328 大粒良質の高蛋白、機械化適性ダイズ新品種「里のほほみ」 ○河野雄飛・湯本節三・加藤信・菊池彰夫(東北農研大豆育種研究東北サブチーム)</p>
14:45	<p>128 イネの花器官形成における<i>OsMADS7</i>と<i>OsMADS8</i>の冗長的な機能 姚晋国・木水真由美・大森伸之介・○吉田均(農研機構中央農研北陸)</p>	<p>230 イネ<i>dp2</i>内穎発育不全-2)座の候補遺伝子の探索 千葉あや乃1・2・中居隼1・長野宏則1・佐野芳雄1・○高幸禮逸朗1(1. 北大院農2. 現 よつ葉乳業(株))</p>	<p>◆座長 河野雄飛 (東北農研)</p> <p>329 低温抵抗性、低温着色抵抗性及び密植機械収穫適性に優れたダイズ品種「トヨハルカ」の育成 ○田中義則1・白井滋久2・湯本節三3・松川勲4・萩原誠司1・山崎敬之2・鈴木千賀1・大西志全5・黒崎英樹2・角田征仁6(1. 道立十勝農試2. 道立北見農試3. 東北農研4. 植調北海道5. 道立中央農試6. 横浜市青葉区)</p>

第4会場 (文系共同講義棟2)	第5会場 (文系共同講義棟5)	第6会場 (文系共同講義棟6)	第7会場 (W203)	9月26日
<p>◆座長 武田真 (岡山大)</p> <p>421 用途の異なる市販小麦粉におけるデンプン消化性の差異 ○大澤実・高橋利和・菅谷隆幸(群馬県農業技術センター)</p> <p>422 国内産小麦の製粉性評価に関する研究 5. 小麦粉の粉体特性評価 ○中村洋(農研機構作物研究所)</p> <p>423 ジャガイモの光照射における緑化とグリコアルカロイド生成の品種間差異 ○尾崎英樹1・森元幸2・三浦秀穂1(1. 帯広畜産大学2. 北海道農業研究センター)</p>	<p>521 ハマダイコン野生集団内および集団間におけるマイクロサテライト変異の解析 ○大迫敬義・山吹誠(京都府大生命環境科学)</p> <p>522 葉緑体および核マイクロサテライトに基づく <i>Brassica rapa</i> L. の系統解析 ○高橋有1・横井修司1・岩田洋佳2・河瀬眞琴3・高畑義人1(1. 岩手大農2. 中央農研3. 生物研)</p> <p>523 DNAと形態からみたイワヤマナシ集団の多様性評価 ○橋本穂1・片山寛則1・池谷祐幸2・山本俊哉2・植松千代美3(1. 神戸大院農食資源センター2. 果樹研3. 大阪市立大院理)</p> <p>524 中国産乾シイタケの品種実態調査 ○寺島和寿・船戸知聖・長谷部公三郎 (財)日本きのこセンター菌室研究所)</p>	<p>◆座長 高原美規 (長岡技術大)</p> <p>621 サトウキビ属野生種のアグロバクテリウムによる形質転換法の開発 ○中山繁樹・刑部敬史・市川裕章・雑賀啓明・土岐精一(生物研)</p> <p>622 薬剤選抜を利用しないイネ形質転換細胞の効率的な選抜法 ○雑賀啓明・土岐精一(生物研)</p> <p>623 超好熱性古細菌 <i>Thermococcus kodakaraensis</i> 由来耐熱性酵素遺伝子のイネにおける高度利用 ○清水優子・安西弘行(茨城大遺伝子)</p> <p>624 イノシトールリン酸代謝におけるイネイノシトールリン酸キナーゼの役割 ○米野浩一・下川哲也・吉田薫(東大農学生命科学)</p>	<p>709 ペニバナアマにおける異形花型自家不和合性の解析 II: 花形特異的タンパク質の cDNA のクローニング ○牛島幸一郎1・重寶由香利2・森仁志3・北端利行1・中野龍平1・久保康隆1(1. 岡山大院自然科学2. 岡山大農3. 名古屋大院生命科学)</p> <p>◆座長 肥塚信也 (玉川大)</p> <p>710 ダイコンF₁採種圃場において観察される花粉媒介昆虫の選択的訪花行動 ○小林喜和1・塚本翔1・新倉聡2・大澤良1(1. 筑波大院生命環境科学2. (株)トーホク)</p> <p>711 <i>Brassica rapa</i> におけるミツバチの訪花行動に及ぼす花香および蜜標の効果 ○塚本翔1・小林喜和1・田中篤2・堀崎敦史2・新倉聡2・大澤良1(1. 筑波大院生命環境2. (株)トーホク)</p> <p>712 圃場に設置した種々防風網の抑風効果とイネの自然交雑率 ○矢頭治・青木秀之・横山宏太郎(中央農業総合研究センター北陸研究センター)</p>	<p>10:30</p> <p>10:45</p> <p>11:00</p> <p>11:15</p> <p>11:30</p>

2日目 (9月26日) 午後				
<p>ポスター2日目 12:00-13:30 奇数番号12:00-12:45, 偶数番号12:45-13:30 (文系共同講義棟2階ホール、W棟2階ホール、W201、W202)</p>				12:00
第4会場 (文系共同講義棟2)	第5会場 (文系共同講義棟5)	第6会場 (文系共同講義棟6)	第7会場 (W203)	13:30
<p>◆座長 高原学 (畜産草地研)</p> <p>424 3系統の異質細胞質ダイコンの分子生物学的および生理学的特性 ○筒井康太・沈受玄・房相佑・金子幸雄 (宇都宮大農)</p> <p>425 2種類のCゲノム1染色体添加型系統によるCゲノム染色体とセイヨウナタネ連鎖地図との対応 ○赤羽美智子・房相佑・金子幸雄(宇都宮大農)</p> <p>426 <i>Diplotaxis erucoides</i>と<i>Brassica rapa</i>との属間雑種F₁植物及び戻し交雑後代の作出 ○山田渉・房相佑・金子幸雄(宇都宮大農)</p> <p>427 <i>Brassica rapax</i>/<i>Raphanus sativus</i>から得たF₁雑種集団の種子稔性 ○道場和也・殿崎薫・房相佑・金子幸雄 (宇都宮大農)</p>	<p>◆座長 加藤謙司 (岡山大)</p> <p>525 六条オオムギの進化過程 ○最相大輔1・P. Mohammad2・小松田隆夫2(1. 岡大資生研2. 生物研)</p> <p>526 キビ (<i>Panicum miliaceum</i> L.) の <i>Waxy</i> 遺伝子構造の決定 ○福永健二・沼岡亜弥(県立広島大学生命環境学部)</p> <p>527 日本在来カモジグサ類の多型解析マーカー作成の試み ○泉澤葵1・高田兼則2・川口健太郎3・小柳敦史3・阿部利徳1・笹沼恒男1(1. 山形大農2. 近中四農研3. 作物研)</p> <p>528 トウガラシにおけるカロチノイド合成に関わる <i>Ccs</i> 遺伝子の多様性 ○笹沼恒男1・市川竜太郎1,2・坂智広2(1. 山形大農2. 横浜市大木原生研)</p>	<p>◆座長 土岐精一 (生物研)</p> <p>625 イネ雑種弱勢原因遺伝子 <i>HWC2</i> の相補性検定と <i>Tos17</i> 挿入を用いた解析 ○沖山友哉1・一谷勝之2・勝沼法朗1・金森裕之3・呉健忠4・松本隆4・宮尾安塾雄4・廣近洋彦4・渡部信義1・久保山勉1(1. 茨城大農2. 鹿児島大農3. STAFF研4. 生物研)</p> <p>626 高頻度イネ遺伝子ターゲティング法による耐病性遺伝子 <i>OsRac1</i> のアミノ酸置換変異 ○寺田理枝1・島谷善平1・川崎努2・森藤暁1・島本功2(1. 基生研2. 奈良先端大)</p> <p>627 イネ胚乳タンパク質の品質管理におけるERシャペロンBiPの役割 ○若佐雄也1・保田浩2・川勝泰二1・廣瀬咲子3・高岩文雄1(1. 生物研2. 北農研3. 作物研)</p> <p>628 RSISを用いた新規遺伝子発現抑制手法の開発 ○高岩文雄1・保田浩2・若佐雄也1・川勝泰二1(1. 農業生物資源研究所 2. 北海道農業研究センター)</p>	<p>◆座長 北柴大泰 (東北大)</p> <p>713 野生ダイコンにおける花粉稔性回復遺伝子の多様性 ○山岸博・松本欣剛・西村香里・安本景太(京産大工)</p> <p>714 ハマダイコンの新しい稔性回復遺伝子に連鎖する <i>PPR3</i> 遺伝子の単離および構造解析 ○安本景太・寺地徹・山岸博(京都産大工)</p> <p>715 ナタネにおける核遺伝子 <i>Frl</i> によるコセナCMS遺伝子 <i>orf125</i> の消失を伴う稔性回復 ○今村順1・大嶋雅夫2・渡邊みずき1・肥塚信也1・半田裕一3(1. 玉川大農2. 筑波大院生命環境3. 生物研)</p> <p>716 ナス属野生種の細胞質を持つ栽培ナス細胞質雄性不稔(CMS)系統間に見られるミトコンドリアCMS関連遺伝子配列の多型の解析 ○北村嘉邦1・安本景太1・齋藤猛雄2・一色司郎3・寺地徹1・山岸博1(1. 京都産大工2. 野茶研3. 佐賀大学農)</p>	<p>14:00</p> <p>14:15</p> <p>14:30</p> <p>14:45</p>

9月26日	第1会場 (理学部大講堂)	第2会場 (文系共同講義棟 8)	第3会場 (文系共同講義棟 1)
15:00	◆座長 大西一光 (帯畜大) 129 出穂期間連遺伝子 <i>Hd1</i> と <i>Ehd1</i> は独立に作用するか? ○松原一樹 ¹ ・野々上慈徳 ² ・堀清純 ¹ ・矢野昌裕 ¹ (1. 生物研2. 農林水産先端研)	◆座長 加藤清明 (帯畜大) 231 イネ高無機リン種子変異体 <i>hip</i> の原因遺伝子の同定 ○中島優典・作山麻衣子・吉田薫(東大農学生命科学)	330 低温抵抗性でイソフラボン含量が高いダイズ品種「ゆき びりか」の育成 ○萩原誠司 ¹ ・白井滋久 ² ・湯本節三 ³ ・松川勲 ⁴ ・山崎敬 之 ² ・鈴木千賀 ¹ ・大西志全 ⁵ ・田中義則 ¹ ・黒崎秀樹 ² ・角 田征仁 ⁶ (1. 道立十勝農試2. 道立北見農試3. 東北農研4. 種調北海道5. 道立中央農試6. 横浜市青葉区)
15:15	130 イネのフロリゲン <i>Hd3a</i> タンパク質による分げつの促進 ○辻寛之 ¹ ・橋知夏 ¹ ・玉置祥二郎 ¹ ・小宮伶奈 ^{1,2} ・島本 功 ¹ (1. 奈良先端大バイオサイエンス2. 遺伝研)	232 イネミトコンドリア移行PPRタンパク質MPR25の解析 ○戸田拓士 ¹ ・藤井壮太 ² ・鳥山欽哉 ¹ (1. 東北大院農学 応用生命科学2. ARC Centre of Excellence in Plant Energy Biol. U.Western Australia)	331 食物繊維含量の高い水稲系統「奥羽粉408号」の開発 ○山口誠之 ¹ ・梶亮太 ¹ ・中込弘二 ¹ ・片岡知守 ² ・遠藤貴 司 ³ ・西村実 ⁴ ・横尾政雄 ⁵ (1. 東北農研2. 九州農研3. 宮 城県古川農試4. 生物研放牧場5. 前筑波大学)
15:30	131 極早生突然変異系統X61のもつ不感光性遺伝子 <i>se130</i> の 機能解析 ○吉竹良洋・齋藤大樹・浅見武人・浅野翔・築山拓司・ 河内孝之 ¹ ・三瀬和之 ¹ ・奥本裕 ¹ ・谷坂隆俊(京大院農)	233 F2集団を使った配偶体または接合体内の2遺伝子座間の 相互作用による生殖的隔離の検出 ○春島嘉章 ^{1,4} ・栗木哲 ^{2,3} ・水多陽子 ^{1,3} ・倉田のり ^{1,3} (1. 遺伝研植物2. 統計数理基礎数理3. 総研大4. 情報・シ ステム研究機構融合センター)	332 多収・良質・良食味の水稲新品種「あきだわら」の育成 ○安東都男 ¹ ・根本博 ¹ ・加藤浩 ¹ ・太田久稔 ¹ ・平林秀介 ¹ ・竹内善信 ¹ ・石井卓朗 ¹ ・前田英郎 ¹ ・井辺時雄 ² ・佐藤 宏 ³ ・平山正賢 ⁴ ・出田収 ⁵ ・坂井真 ² ・田村和彦 ⁶ ・青木 法明 ¹ (1. 作物研2. 九州沖縄農研セ3. 農水省4. 茨城農 総セ5. 近中農研6. 岩手県中央農改セ)
15:45	132 不感光性突然変異系統X61のもつ新規突然変異遺伝子 の単離およびその育種利用 ○齋藤大樹・吉竹良洋・奥本裕 ¹ ・谷坂隆俊(京大院農)	234 Affymetrix Rice Genome Arrayを用いたSFP検出とゲノ ム多様性解析への利用 ○堀内陽子 ^{1,2} ・春島嘉章 ^{1,2} ・望月孝子 ¹ ・藤澤洋徳 ³ ・川 喜田雅則 ⁴ ・江口真透 ^{3,5} ・倉田のり ^{1,5} (1. 遺伝研2. 融合 研3. 統計数理4. 九大院システム情報科学5. 総研大)	◆座長 山口誠之 (東北農研) 333 イネいもち病圃場抵抗性遺伝子 <i>pi21</i> の種内変異と育種 利用 ○福岡修一 ¹ ・坂紀邦 ² ・矢野昌裕 ¹ (1. 生物研2. 愛知農 総試山間)
16:00	◆座長 松原一樹 (生物研) 133 <i>mPing</i> SCARマーカーを用いた新規出穂期突然変異遺 伝子の同定 ○浅見武人・齋藤大樹・徐銓 ¹ ・奥本裕 ¹ ・袁清波 ¹ ・吉竹良 洋 ¹ ・谷坂隆俊(京大農学)	◆座長 上田実 (京大) 235 バンコムギのゲノムにおける α / β グリアジン多重遺伝 子の重複と分化 ○川浦香奈子 ¹ ・呉健忠 ² ・松本隆 ² ・金森裕之 ³ ・片桐敏 3 ¹ ・萩原保成 ¹ (1. 横浜市大木原生研2. 生物研3. STAFF 研)	334 ゲノム情報を利用したイネいもち病圃場抵抗性遺伝子座 <i>Pi21</i> 近傍の不良形質の除去 ○坂紀邦 ¹ ・福岡修一 ² ・安東都男 ³ ・寺島竹彦 ¹ (1. 愛知 農総試山間2. 生物研3. 作物研)
16:15	134 北海道品種に見いだされたイネ感光性遺伝子座 <i>E1</i> 座の 新規機能欠損型対立遺伝子 ○浅野翔・齋藤大樹・浅見武人 ¹ ・奥本裕 ¹ ・谷坂隆俊(京大 院農)	236 バンコムギ幼苗におけるABA感受性QTLとABA応答性 遺伝子発現との関係 ○小林史典 ^{1,2} ・毛見薫雄 ³ ・半田裕一 ¹ (1. 生物研2. 日本 学術振興会特別研究員3. 神戸大院農)	335 水稲の開花期耐性に関する遺伝解析 ○品田博史・佐藤毅(道立上川農試)
16:30	135 イネ出穂日遺伝子 <i>Hd1</i> の対立遺伝子の評価 ○藤野賢治 ¹ ・松田康之 ¹ ・岩田夏子 ¹ ・野々上慈徳 ² ・矢 野昌裕 ³ (1. ホクレン2. 農林水産先端研3. 生物研)	237 白粒コムギ分離集団における種子休眠性の変異と関与 するQTLの検出 ○藤井雅之 ¹ ・三浦秀穂 ¹ (1. 帯広畜産大学2. 帯広畜産 大学)	336 北海道における熱帯原産野生イネを利用した多げつ性 多収系統の作出 ○清水博之 ¹ ・伊藤勇樹 ¹ ・大西一光 ² ・佐野芳雄 ³ (1. 北 農研2. 帯広畜産大3. 北大院農)
16:45	136 イネ早生遺伝子 <i>Efi</i> および <i>m-Efi1</i> に対して異なる挙動を 示す <i>se-pat</i> 座の複対立遺伝子 ○上床修弘 ¹ ・佐野芳雄 ¹ (北大院農)	238 ソルガムにおける乾汁性遺伝子のマッピング ○米田淳一 ¹ ・大西孝幸 ¹ ・安藤露 ² ・河野いづみ ² ・徳永 毅 ³ ・松本隆 ⁵ ・春日重光 ⁴ ・堤伸浩 ¹ (1. 東大農学生命科 学2. 農林水産先端研3. (株)アースノート4. 信州大農5. 生物研)	
	W309	W310	W303
18:00	グループ研究会1 育種学と農学のこれからを考える 1 8 若手の会主催・研究会 世話人：角井宏行(千葉大)・高橋有(岩手大)	グループ研究会2 メタボロームの多角的利用法 - Breeding Informatics研究 IV 世話人：岩田洋佳(中央農研)・矢野健太郎(明治大農)	グループ研究会3 遺伝資源海外学術調査の現状と課題 世話人：佐藤雅志(東北大)・ 大田正次(福井県立大)・加藤謙司(岡山大)
20:00	話題提供: 1. 植物ウイルスベクターによる遺伝子特異的な 転写不活性化誘導系の開発とその機構解析 太田垣駿吾(北大) 2. Population genetics and breeding 宅野得平(総合研究大学院大学) 3. Phloem transportable RNA (phtRNA) を利用した 接ぎ木形質転換系の確立 津和本亮(弘前大)	話題提供: 1. 育種から調理まで多分野での利用を理想とした 野菜・作物代謝物データベースの構築 飯島陽子(かずさDNA研)	話題提供: 1. ラオス北部のモチイネ在来品種の多様性 ~ 遺伝学と民俗学の連携を目指して 武藤千秋(総合地球研) 2. 遺伝資源の自生地保存を行うために何が必要か 秋本正博(帯広畜産大)

第4会場 (文系共同講義棟2)	第5会場 (文系共同講義棟5)	第6会場 (文系共同講義棟6)	第7会場 (W203)	9月26日
<p>◆座長 穴井豊昭 (佐賀大)</p> <p>428 ガンマ線照射により得られたアポミクシス遺伝子領域部分欠失変異体の解析 ○高原学1・蛭名真澄1・飯村敬二1・田中真衣2・秋山征夫1・山田・秋山仁美1・高浦正1・中川仁3(1. 畜産草地研2. 長岡技術科学大3. 生物研)</p> <p>429 重イオンビーム照射による雌雄異株植物ヒロハノマンテマY染色体欠失イブラリーの構築 ○風間裕介1・石井公太郎2・鳥居千尋2・青沼航2・河野重行2・阿部知子1(1. 理研仁科センター2. 東大院新領域先端生命)</p> <p>430 チガヤ花粉はムギ類のどのゲノムに対して半数体を誘発するか ○向井康比己1・竹本寛1・岡本元達1・大久保志穂1・大庭春奈1・鈴木剛1・H. Chaudhary2・山本真紀3(1. 大教大教養自然研究2. ヒマチャルプラデッシュ農業大3. 関西福祉科学大)</p> <p>431 Dゲノムに変異をもつ合成パンコムギシリーズの開花関連形質の多様性解析 ○梶村友則1・松岡由浩2・村井耕二2・宅見薫雄1(1. 神戸大農学2. 福井県大生物資源)</p>	<p>◆座長 最相大輔 (岡山大)</p> <p>529 葉緑体ゲノムの配列多型に基づく栽培メロンの分化 ○田中克典1・明石由香利2・武藤千秋1・西田英隆2・M. Khaing3・佐藤洋一郎1・加藤謙司2(1. 総合地球環境学研究所2. 岡山大農3. VFRDC, ミャンマー)</p> <p>530 RAPD解析により明らかとなったベトナムのメロン在来種における遺伝的多様性 ○Phan ThiPhuong Nhi1・Tran Thi Minh Hang2・山本運也1・明石由香利1・西田英隆1・加藤謙司1(1. 岡大院自然2. ハノイ農大)</p> <p>531 RAPD多型および形態形質に見られるイラン在来スネークメロンの遺伝的多様性 F. Soltani1・○明石由香利2・Z. Zamani1・M. Mostofi1・加藤謙司2(1. テヘラン大学2. 岡山大院自然)</p> <p>532 ペニバナ属倍數性種の祖先二倍性種解明のための系統解析及び山形県における栽培ペニバナの特徴 ○渡辺さゆり1・D. Sehgal2・S. Raina2・阿部利徳1・笹沼恒男1(1. 山形大農2. デリー大植物)</p>	<p>◆座長 小野寺康之 (北大)</p> <p>629 種間接木変異トウガラシの後代に見られる成熟果実色変異に関与するカロテノイド生成遺伝子の解析 ○石森元幸1・山口智宏2・平田豊1(1. 農工大院国際2. 農工大農)</p> <p>630 イネカルスにおけるエストロゲン誘導遺伝子発現システムによるGFP発現解析 ○奥崎女子・小長谷賢一・津田麻衣・田部井豊(生物研)</p> <p>631 外来種子タンパク質の高度蓄積がダイズ内在タンパク質へ及ぼす影響 ○高木恭子1・西澤けいと1・廣瀬亜矢1・長谷川久和2・丸山伸之3・内海成3・寺川輝彦2・石本政男1(1. 北農研2. 北興化学工業3. 京大院農)</p> <p>632 各種種子タンパク質を利用したアルツハイマー病エpitep形質転換ダイズの作出 ○長谷川久和1・西澤けいと2・石本政男2・丸山伸之3・内海成3・寺川輝彦1(1. 北興化学開発研2. 北農研3. 京都大)</p> <p>633 脂質合成関連遺伝子を過剰発現させた形質転換ダイズの作出 ○柴田雅之・山田哲也・阿部純・喜多村啓介(北大院農)</p>	<p>◆座長 寺地徹 (京産大)</p> <p>717 <i>Aegilops mutica</i>細胞質を利用した雄性不稔パンコムギ系統と回復系統のミトコンドリア遺伝子発現解析 ○G. Panayotova1・I. Panayotov2・中村千春1(1. 神戸大院農2. コムギ・ヒマワリ研究所、ブルガリア)</p> <p>718 異なる細胞質をもつダイコンにおけるミトコンドリアプロモーター領域の消失と獲得 ○小林健人・今村順・肥塚信也(玉川大農)</p> <p>719 タバート細胞におけるミトコンドリアダイナミクスの解析 ○中島将貴・藤本優・松岡佳奈子・有村慎一・堤伸浩(東大農学生命科学)</p> <p>◆座長 新倉聡 (トーホク)</p> <p>720 普通バレイショと野生6倍種 <i>Solanum demissum</i> の正逆F₂雑種花粉におけるDNAおよびDNAメチル化の違い ○貫友玲奈・保坂和良(神戸大食資源センター)</p>	<p>15:00</p> <p>15:15</p> <p>15:30</p> <p>15:45</p>
<p>◆座長 藤野介延 (北大)</p> <p>432 TILLING法による超高オレイン酸ダイズ突然変異系統の開発 ○穴井豊昭・星野友紀(佐賀大学農)</p> <p>433 NBRPTマトマト変異体リソース整備と変異体探索データベース“TOMATOMA”の構築 ○有泉亨1・浅水恵理香1・斉藤岳士1・山崎由紀子2・溝口剛1・福田直也1・松倉千昭1・青木考3・江面浩1(1. 筑波大院生命環境科学2. 遺伝研3. かずさDNA研)</p> <p>434 イネの<i>aDart</i>活性を抑制する<i>Dart canceller(Dac)</i>のマッピング ○西村秀希1・梶根一夫2・飯田滋3・前川雅彦1(1. 岡大資生研2. 基生研3. 静岡県大院生活健康科学)</p> <p>435 キンギョソウトランスポゾン<i>Tam3</i>に挟み込まれた遺伝子の干渉作用 ○内山貴子1・千田峰生2・貴島祐治1(1. 北大院農2. 弘大農学生命)</p>			<p>721 二粒系コムギとタルホコムギの雑種で幼苗期に生長が停止する個体の解析 ○秦野仁志・水野信之・宅見薫雄(神戸大農学)</p> <p>722 アジア-アフリカ間間の生殖的隔離に寄与するS₁遺伝子座における遺伝子多型 ○荻野篤史・小出陽平・大西一光・金澤章・佐野芳雄(北大院農)</p> <p>723 イネの遠縁種間交雑で雑種不稔を導く遺伝子座 <i>S13</i> における中立的な新規対立遺伝子 <i>S13'</i> のfine mapping ○池ヶ谷智仁・小出陽平・佐野芳雄・金澤章(北大院農)</p>	<p>16:00</p> <p>16:15</p> <p>16:30</p> <p>16:45</p>
<p>W311</p> <p>グループ研究会4 遺伝資源の過去・現在・未来 世話人：河瀬真琴(生物研ゾーンバンク) 大澤良(筑波大)</p> <p>話題提供： 1. ロシア・バビロフ研のこの12年 一とくに植物遺伝資源の研究活動について 山田実(海外植物遺伝資源活動支援協議会)</p>	<p>W304</p> <p>グループ研究会5 ムギ類の育種-重要遺伝子 -ゲノムデータベース活用編 世話人：那須田周平(京大)・石川香郎(東北農研)</p> <p>話題提供： 1. PLUGウェブサイトの紹介 石川香郎(東北農研) 2. NBRP・コムギSSRマーカーデータベースの紹介 新田みゆき・那須田周平(京都大) 3. TriMEDB、TriFLDBの紹介 持田恵一(埋研) 4. Comparative Map Viewer(CMap)の使い方 土屋里枝・山崎由紀子(遺伝研)</p>			<p>18:00</p> <p>↓</p> <p>20:00</p>

講演番号・座長一覧

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場
	理学部大講堂	文系共同講義棟8	文系共同講義棟1	文系共同講義棟2	文系共同講義棟5	文系共同講義棟6	W棟W203
25日午前	101-105 下坂悦生 8:30-9:45	201-204 呉 健忠 8:30-9:30	301-304 宮武宏治 8:30-9:30	401-404 草場 信 8:30-9:30	501-504 福田善通 8:30-9:30	601-604 小松田隆夫 8:30-9:30	
	106-110 黒木 慎 9:45-11:00	205-209 松村英生 9:30-10:45	305-309 白澤健太 9:30-10:45	405-408 森野和子 9:30-10:30	505-508 石川隆二 9:30-10:30	605-608 力石和英 9:30-10:30	
	111-112 西尾善太 11:00-11:30	210-213 築山拓司 10:45-11:45	310-313 那須田周平 10:45-11:45	409-412 藤田直子 10:30-11:30	509-512 河原太八 10:30-11:30	609-612 平野博之 10:30-11:30	
26日午前	113-116 早野由里子 8:30-9:30	214-218 春島嘉章 8:30-9:45	314-316 渡辺啓史 8:30-9:15	413-416 石本政男 8:30-9:30	513-516 加賀秋人 8:30-9:30	613-616 安西弘行 8:30-9:30	701-704 畠山勝徳 8:30-9:30
	117-120 安井 秀 9:30-10:30	219-222 福岡浩之 9:45-10:45	317-319 矢野健太郎 9:15-10:00	417-420 中村 洋 9:30-10:30	517-519 大澤 良 9:30-10:15	617-620 雑賀啓明 9:30-10:30	705-709 野々村賢一 9:30-10:45
	121-124 田口和憲 10:30-11:30	223-226 船附秀行 10:45-11:45	320-322 山本敏央 10:00-10:45	421-423 武田 真 10:30-11:15	520-524 乙部千雅子 10:15-11:30	621-624 高原美規 10:30-11:30	710-712 肥塚信也 10:45-11:30
26日午後	125-128 藤野賢治 14:00-15:00	227-230 千田峰生 14:00-15:00	326-328 勝田真澄 14:00-14:45	424-427 高原 学 14:00-15:00	525-528 加藤鎌司 14:00-15:00	625-628 土岐精一 14:00-15:00	713-716 北柴大泰 14:00-15:15
	129-132 大西一光 15:00-16:00	231-234 加藤清明 15:00-16:00	329-332 河野雄飛 14:45-15:45	428-431 穴井豊昭 15:00-16:00	529-532 最相大輔 15:00-16:00	629-633 小野寺康之 15:00-16:15	717-719 寺地 徹 15:00-15:45
	133-136 松原一樹 16:00-17:00	235-238 上田 実 16:00-17:00	333-336 山口誠之 15:45-16:45	432-435 藤野介延 16:00-17:00			720-723 新倉 聡 15:45-16:45

口頭発表講演方法

口頭発表の発表形式はコンピュータプレゼンテーションのみです。予備用の OHP の用意はありません。発表には、必ずご自分のパソコンをご使用ください。パソコンの不具合に供えるため運営委員会において予備のパソコン(Windows XP のみ、Power Point)を準備致しますので、必ずデータのバックアップを入れた USB メモリースティックをご持参下さい。また、大会当日、会場には試写室を設け試写用液晶プロジェクターを用意いたします。あらかじめ余裕を持って試写用液晶プロジェクターにて文字化け、段落の崩れ、動作などをご自身で確認してください。D-sub15 ピン（ミニ）のケーブルをご用意いたしますので、試写用液晶プロジェクターにてケーブルの接続を確認して下さい。一部のノートパソコンでは変換用のアダプタが必要な場合がありますので、必ずお持ち下さい。ノートパソコンから外部モニターや液晶プロジェクターに正しく出力されるかあらかじめ確認しておいて下さい。

注意点

1. 画面サイズ（解像度）に関しては、発表に使用する液晶プロジェクターは全て XGA（1024×768）に統一してありますので、ご使用のノートパソコンの解像度を XGA に合わせてからレイアウトの確認をしてください。このサイズより大きい場合、スライドの周囲が切れてしまいますので、画面の設定を XGA に必ず合わせて下さい。
2. 外部画像出力コネクタが D-sub15 ピン（ミニ）であることを確認してください。違う場合は変換用のアダプタをご用意下さい。
3. ノートパソコンのスクリーンセーバーならびに省電力設定は事前に解除しておいてください。
4. 発表会場のモニター切り替え器には 4 本の D-sub15 ピン（ミニ）のケーブルが接続されており、A, B, C, D の記号が付いています。会場の次講演者席、次次講演者席には記号の付いたケーブルが来ていますので記号を確認の上、接続してください。
5. 会場にて電源を用意していますので、電源コードを必ずお持ちください。バッテリートラブルが生じないように次講演者席、次次講演者席近辺に電源タップを用意しておきますので、必ずご利用下さい。電源タップと演台の間は一般的なノートパソコンの電源コードで間に合うようにいたします。
6. 次講演者席、次次講演者席に着いてケーブルを接続したらノートパソコンを起動させてください。ただし、起動音は周りの迷惑になりますのであらかじめミュート（消音）にしておいてください。
7. 画像出力先を外部またはミラーリングに設定しておいてもケーブルが接続されていないと液晶モニターのみ自動的に切り替わってしまう機種があります。その場合にもあわてずに素早く対処できるように、ファンクションキー等を用いた出力先の切り替え法もご確認下さい。
8. 係員が演壇においてコンピュータに接続したケーブル端子の A, B, C, D の記号に合わせてモニター切り替え器のスイッチを切り替えます。接続端子には A, B, C, D の記号が付いておりますので係員に見えるようにしてください。切り替えがうまくいかなかった場合はコンピュータの画面出力先を確認してください。なお、トラブルの時間も講演時間にふくまれますのでご注意下さい。
9. 動画を用いられる場合、Windows XP に関して、出力先をミラーリングに設定してあると動画は液晶画面には映りませんがプロジェクタから投影されないことがあります。その際は、出力先を外部のみに切り替えてください。
10. 試写室には大会期間中常時専門スタッフがおりますので、上記の設定等について不明の点はお尋ね下さい。
11. そのほか、トラブル時用に必ずデータのバックアップを入れた USB メモリースティックも用意して下さい。

その他、ご不明の点は北海道大学育種学会運営委員会(09ikushu@abs.agr.hokudai.ac.jp)にお問い合わせください。

ポスター発表プログラム

1日目発表 P1-01 から P1-72 奇数番号12:00~12:45, 偶数番号12:45~13:30

<品種育成・育種法> P1-01 から P1-08

P1-01	ダツタンソバルチン分解酵素の特異的検出法と多点スクリーニング法の開発 ○鈴木達郎・六笠裕治・森下敏和・野田高弘・瀧川重信・橋本直人・遠藤千絵・山内宏昭(北海道農業研究センター)
P1-02	晩生・短稈・良食味・高品質の水稲新品種「つや姫」の育成 ○佐野智義 ¹ ・結城和博 ¹ ・佐藤久実 ² ・中場勝 ³ ・櫻田博 ⁶ ・本間猛俊 ² ・渡部幸一郎 ¹ ・水戸部昌樹 ⁴ ・宮野齊 ³ ・中場理恵子 ³ ・横尾信彦 ⁵ ・森谷真紀子 ¹ ・後藤元 ³ ・齋藤信弥 ¹ ・齋藤久美 ¹ (1. 山形県農総研セ水田農試2. 山形県庁3. 庄内総合支庁4. 農業大学校5. 村山総合支庁6. 元庄内総合支庁)
P1-03	北海道における高品質ビール大麦新品種候補「北育41号」とβ-グルカン高含有食用大麦系統の育成 ○保木健宏 ¹ ・金谷良市 ¹ ・斉藤渉 ¹ ・高橋進 ¹ ・木原誠 ¹ ・田中常喜 ² ・佐藤三佳子 ² ・宮本裕之 ² ・吉村康弘 ² ・池永充伸 ³ ・浅山聡 ³ ・林勝弘 ¹ (1. サッポロビール(株)バイオ研究開発部2. 北海道立北見農業試験場3. 北海道立中央農業試験場)
P1-04	β-カロテンを豊富に含むサツマイモ新品種「タマアカネ」は醸造および直播栽培適性が高い ○境哲文・片山健二・甲斐由美・吉永優(九州沖縄農研セ)
P1-05	ペレニアルライグラス雄性不稔系統の育成 ○荒川明 ¹ ・藤森雅博 ² ・杉田紳一 ³ ・内山和宏 ¹ ・水野和彦 ¹ (1. 畜産草地研究所研究所2. 山梨県酪農試験場3. 日本草地畜産種子協会)
P1-06	コムギ縮萎縮病抵抗性で、ブレンド適性に優れる超強力秋まき小麦品種「ゆめちから」の育成 ○田引正 ¹ ・西尾善太 ¹ ・伊藤美環子 ¹ ・山内宏昭 ¹ ・高田兼則 ² ・桑原達雄 ³ ・入来規雄 ⁴ ・谷尾昌彦 ⁵ ・池田達哉 ² ・船附稚子 ¹ (1. 北海道農業研究センター2. 近畿中国四国農業研究センター3. 元北海道農業研究センター4. 作物研究所5. 中央農業総合研究センター)
P1-07	リンドウの薬培養における二層培地の効果 ○李在民 ¹ ・横井修司 ¹ ・西原昌宏 ² ・高畑義人 ¹ (1. 岩手大学農学部2. 財団法人岩手生物工学研究センター)
P1-08	スイートソルガムにおける染色体倍加条件の検討 ○井上栄一・西垣潤・新田洋司・本間貴司・松田智明・成澤才彦・久留主泰朗・太田寛行・長南茂・宮口右二・豊田淳・加藤亮・小林久・小松崎将一・佐藤達雄・吉田貢士(茨城大学農学部)

<抵抗性・耐性> P1-09 から P1-26

P1-09	アスコルピン酸パーオキシダーゼ遺伝子(<i>APXa</i>)を過剰発現するイネの穂ばらみ期耐冷性及び生育・形態の特性 ○佐藤裕 ¹ ・増田ゆかり ¹ ・村山誠治 ¹ ・斉藤浩二 ¹ ・小沢憲二郎 ² (1. 農研機構北海道農研センター2. 農業生物資源研究所)
P1-10	イネ縮萎縮病抵抗性遺伝子 <i>Stvb</i> -候補の発現解析 ○早野由里子 ¹ ・高橋真実 ² ・石川浩一 ³ ・齋藤浩二 ¹ (1. 北農研2. 中央研3. 近中四研)
P1-11	コムギにおける赤かび病の感染に対する抵抗性の評価法の検討 ○久保堅司 ¹ ・八田浩一 ¹ ・藤田雅也 ¹ ・河田尚之 ¹ ・小田俊介 ² ・牛山智彦 ³ ・中村和弘 ⁴ ・中島隆 ¹ (1. 農研機構・九州沖縄農研2. 農研機構・作物研3. 長野県農試4. 農研機構・東北農研)
P1-12	Late maturity alpha-amylaseが誘導される登熟温度条件 ○小田俊介 ¹ ・久保堅司 ² ・八田浩一 ² ・藤田雅也 ² (1. 作物研究所2. 九州沖縄農業研究センター)
P1-13	北海道と九州におけるコムギ縮萎縮病抵抗性遺伝子 <i>Ym1b</i> の効果 ○西尾善太 ¹ ・田引正 ¹ ・伊藤美環子 ¹ ・長澤幸一 ¹ ・早田暁世 ¹ ・山内宏昭(北海道農研)
P1-14	<i>Zoysia sinica</i> との交配によるシバ属植物の耐塩性向上 ○松田靖・金子博・村田達郎(東海大学農)
P1-15	重金属存在下でのコケ原系体の成長阻害の観察 ○藤野彬仁 ¹ ・高原美規 ² (1. 長岡技術科学大学院 生物機能工学専攻2. 長岡技術科学大学)
P1-16	プラスチックコンテナを用いたダイズシストセンチュウ検定法の開発 ○池田千亜紀 ¹ ・宮本勝 ² ・岡野克紀 ¹ ・平山正賢 ¹ (1. 茨城生工研2. 現茨城県庁)
P1-17	北海PL9の穂ばらみ期耐冷性QTLの検出 ○黒木慎 ¹ ・松葉修一 ¹ ・齋藤浩二 ¹ ・横上晴都 ¹ ・佐藤裕 ¹ ・安東郁男 ² ・清水博之 ¹ (1. 農研機構・北海道農研2. 農研機構・作物研)
P1-18	低温環境下のイネのミトコンドリアにおいて、RNAエディティングとスプライシングは関連があるか？ ○栗原志保 ¹ ・久保友彦 ² (1. 北海道農業研究センター2. 北海道大学農学部)

P1-19	チャ品種「みなみさやか」の炭疽病拡大抵抗性に関するQTL解析 ○谷口郁也・吉田克志・田中淳一・荻野暁子(農研機構野菜茶研)
P1-20	好気および嫌気条件下におけるダイズ冠水抵抗性の品種間差異 ○平田香里1・広田直子1・寺石政義1・吉川貴徳2・築山拓司1・奥本裕1・谷坂隆俊1(1. 京大院農2. 東大農学生命科学)
P1-21	ダイズのインゲンマメ南部モザイクウイルスに対する抵抗性の遺伝解析 ○猿田正恭・高田吉丈・岡部昭典(近中四農研)
P1-22	イネ科野生植物 <i>Chloris virgata</i> とイネ由来 <i>Metallothionein1</i> 形質転換シロイヌナズナにおける金属蓄積量の解析 ○西内俊策1・柳参奎2・高野哲夫1(1. 東大アジアセンター2. 中国東北林業大学)
P1-23	オオムギの主要な穂形質が赤かび病抵抗性に及ぼす影響 ○吉岡藤治・青木恵美子・塔野岡卓司(農研機構作物研)
P1-24	イネとイネ科野生植物 <i>Puccinellia tenuiflora</i> 由来のK ⁺ channel α 、 β サブユニットの比較解析 ○S. Ardie1・柳参奎2・高野哲夫1(1. 東大アジアセンター2. 中国東北林業大学)
P1-25	アズキ茎疫病菌抵抗性と熟性の遺伝的関連 ○藤田正平1・小倉玲奈2・鈴木和織2・田澤暁子3・青山聡2・島田尚典3(1. 北海道立中央農業試験場2. 北海道立上川農業試験場3. 北海道立十勝農業試験場)
P1-26	低温及びABA処理を行ったコムギ実生のメタボローム解析 ○下坂悦生・村山誠治(農研機構北海道農研)

<収量・バイオマス> P1-27 から P1-32

P1-27	Dof転写因子 <i>SRF1</i> を過剰発現するサツマイモ形質転換体における塊根乾物率の増加と糖代謝の変化 ○田中勝1,3・高畑康浩1・中山博貴1・中谷誠2・田原誠3(1. 農研機構九沖農研2. 国際農研3. 岡大院自然科学)
P1-28	II型デンプン合成酵素を発現抑制した形質転換サツマイモの特性 ○高畑康浩1・田中勝1・大谷基泰2・片山健二1・北原兼文3・中谷内修2・中山博貴1・吉永優1(1. 農研機構・九州沖縄農研2. 石川県立大3. 鹿児島大)
P1-29	コムギの種子の大きさと形態に関するモノソミック分析 ○田中裕之・高原みどり・辻本壽(鳥取大農)
P1-30	根長を指標とした根系が発達したイネ突然変異体の単離 ○小原実広1・阿部陽2・神崎洋之1・松村英生1・寺内良平1(1. (財)岩手生物工学研究センター2. 岩手県農業研究センター)
P1-31	糖生産に着目したスイートソルガムにおける生長過程の年間差異 ○本間貴司1・神山朗範1・新田洋司1・小林亮1・梅原涼平1・松田智明1・中村聡2・後藤雄佐3・井上栄一1・成澤才彦1・久留主泰朗1・太田寛行1・長南茂1・宮口右二1・豊田淳1・加藤亮1・小林久1・小松崎将一1・佐藤達雄1・吉田貢士1(1. 茨城大学農学部2. 宮城大学食産業学部3. 東北大学大学院農学研究科)
P1-32	大気中NO _x の植物バイオマス増産効果 ○高橋美佐1・坂本 敦1・江面 浩2・森川弘道1(1. 広島大院理学研究科2. 筑波大院生命環境科学)

<発生> P1-33 から P1-41

P1-33	シロイヌナズナ伴細胞特異的遺伝子 <i>TRT1</i> は植物の花成と黄化を促す ○津和本亮・原田竹雄(弘前大農学生命科学)
P1-34	イネの <i>PIN</i> 遺伝子の発現パターン 宮下結衣1,2・伊藤幸博1(1. 東北大農2. 京大生命科学)
P1-35	わが国コムギ品種における不感光性遺伝子 <i>Ppd-B1</i> の早生化効果と極早生品種の系譜 ○関昌子1,2・蝶野真喜子1・松中仁1・加藤鎌司2・藤田雅也3・小田俊介1・久保堅司3・乙部千雅子1・小島久代1(1. 農研機構・作物研2. 岡山大院自然3. 農研機構・九沖農研)
P1-36	イネ3量体Gタンパク質 α サブユニット遺伝子とブラシノステロイド関連遺伝子を欠失した2重変異体の解析 ○井沢有希1・隠岐勝幸1・北野英己2・若崎行玄1(1. 福井県立大学生物資源2. 名古屋大学生物機能開発利用研究センター)
P1-37	イネ3量体Gタンパク質 β サブユニット遺伝子の発現抑制個体の解析 ○宇都宮有瑞子・鮫島千裕・加藤久晴・藤澤由紀子・若崎行玄(福井県立大学生物資源)
P1-38	ナバナの早晩性に関する遺伝解析 ○北浦健生1・北宜裕1・大澤良2(1. 神奈川農技セ2. 筑波大院生命環境)
P1-39	ゴマ種子に高蓄積する成分の生合成に関わる遺伝子群のプロモーター領域の構造解析 ○角谷裕幸1・山本将之1・増田恭次郎2・若杉達也1・山田恭司1(1. 富山大・院・理工2. 富山大・理・生物)

P1-40	ダイコンの花序構成とTFLならびにLFYの発現パターンの関連性 ○森本優・宍戸理恵子・野村和成(日本大学生物資源科学部)
P1-41	コムギ種子特異的な液胞型アクアポリン (TIP) の解析 ○宇都木繁子・且原真木・前川雅彦(岡山大学資生研)

〈ゲノム解析・DNAマーカー〉 P1-42 から P1-72

P1-42	ソルガムの節間伸長と高糖性に関するQTL解析 宋献軍1・春日重光2・米丸淳一1,3・大前梢1・山村卓也1・松岡信1・○佐塚隆志1(1. 名大生物機能センター2. 信大農学部アルプス圏フィールドセンター3. 農生研QTLゲノムセンター)
P1-43	ハウレンソウの雄性決定遺伝子近傍領域の連鎖地図作成 ○増茂弘規1・小野寺康之2・三上哲夫2(1. 北大農学院生物資源科学専攻2. 北大大学院農学研究院応用生命科学部門)
P1-44	コムギのA, Dゲノムに由来する反復DNA因子 ○富田因則・朝生宗徳・倉本文(鳥取大農)
P1-45	DNAマッピングによるナシの品種・産地判別技術の開発 4. ニホンナシにおける <i>copia</i> 型レトロトランスポゾン解析 ○H. Kim1・保坂 ふみ子1・寺上 伸吾1・西谷 千佳子1・澤村 豊1・松山 知樹2・山本 俊哉1(1. 農研機構, 果樹研2. 理研, 中央研)
P1-46	ペチュニアSSRマーカーの開発と連鎖地図の作成 ○大高麻美1・河合智香1・小林沙織1・遠山宏和1・安藤敏夫2・渡部信義1・久保山勉1(1. 茨城大学農学部2. 千葉大学園芸学部)
P1-47	ESTに由来するSNPマーカーを利用したトマトの品種間多型 ○白澤健太・磯部祥子・藤代維一・佐藤修正・田畑哲之(かずさDNA研)
P1-48	ダイコンSSRマーカーの開発 ○中辻諒一1・橋田友子1・久保中央1,2・平井正志1,2(1. 京都府大院生命環境2. 京都生資セ)
P1-49	サツマイモネコブセンチュウ抵抗性に関連したサツマイモのDNAマーカーの同定 ○中山博貴1・田中勝1・高畑康浩1・吉永優1・岩堀英晶1・佐野善一2(1. 農研機構・九州沖縄農研2. 雪印種苗)
P1-50	イネのカドミウム移行を高める遺伝子 <i>qCdT7</i> の単離 ○宮館秀典1・手塚耕一1・安達早希1・平泉彩1・佐藤奈美子1・渡辺明夫1・櫻井健二1・高橋秀和1・川本朋彦2・加藤和直2・小玉郁子2・眞崎聡2・赤木宏守1(1. 秋田県立大生物資源2. 秋田県農林水産技術センター)
P1-51	カドミウム高吸収性イネ‘長香穀’のカドミウム蓄積性に関するQTL ○手塚耕一1・宮館秀典1・佐藤奈美子1・渡辺明夫1・櫻井健二1・高橋秀和1・川本朋彦2・加藤和直2・小玉郁子2・眞崎聡2・佐藤秀樹3・山口誠之3・赤木宏守1(1. 秋田県立大生物資源2. 秋田県農林水産技術センター3. 東北農研)
P1-52	イネ栽培化過程における <i>sh4</i> 遺伝子領域の選抜 ○朱作峰1・伊藤友子2・金森裕之2・伊藤幸代2・伊川浩司2・D. Vaughan3・佐々木卓治1・松本隆1・呉健忠1(1. 農業生物資源研究所植物ゲノム研究ユニット2. 農林水産先端技術研究所研究第1部3. 農業生物資源研究所ジーンバンク)
P1-53	栽培種及び近縁野生種イネ集団を用いたイネ収量性関連遺伝子領域における塩基配列の多様性及びハプロタイプ解析 ○山根弘子1・伊藤友子1・石久保春美1・唐澤渉1・神谷梢1・山形晴美1・金森裕之1・伊藤幸代1・柴田未知恵1・濱田昌雄1・伊川浩司1・佐々木卓治2・呉健忠2・松本隆2(1. 農林水産先端技術研究所研究第1部2. 農業生物資源研究所植物ゲノム研究ユニット)
P1-54	ケツルアズキ多器官大型化突然変異遺伝子近傍のAFLPマーカーの開発 ○友岡憲彦1,2・加賀秋人1・平野久美1,2・D. Vaughan1(1. 農業生物資源研究所2. 東京農業大学大学院・農学研究科)
P1-55	イネの穂首維管束系における遺伝的変異と穂形質の関係 ○池田真由子1・柴田洋佑2・山村卓也3・広瀬佳嗣4・高師知紀5・土井一行1・芦苺基行3・松岡信3・北野英己3(1. 名大院生命農学2. 愛教大院教育3. 名大生物機能開発利用研究センター4. (株)本田技術研究所5. HRI-JP)
P1-56	雄性不稔スギ「爽春」の候補遺伝子の探索 ○坪村美代子1・栗田学2・河合(宗原)慶恵1・渡邊敦史1(1. 森林総研林木育種センター2. Forest Bio-Research Center, Forestry and Forest Products Research Institute)
P1-57	ゴマにおける連鎖地図の作成にむけて ― 有用形質の遺伝解析とDNAマーカーの作出 ○藤原一矢1・山本将之1・増田恭次郎2・若杉達也1・山田恭司1(1. 富山大・院・理工2. 富山大・理・生物)
P1-58	牧草ブラキアリア種におけるrDNA染色体の比較 ○秋山征夫1・山田・秋山仁美2・幸喜香織3・蝦名真澄2(1. 農研機構・東北農研2. 農研機構・畜草研3. 沖縄県畜産研)
P1-59	アカクローバのストレス耐性に関するQTLマッピングと遺伝的多様性 ○磯部祥子1・イリーナクリメンコ2・ナデーダラズコウラーバ2・奥村健治3・ニコライコズロフ2(1. かずさDNA研究所2. 全ロシアウィリアムス飼料作研究所3. 北海道農研)
P1-60	ナタネにおけるミトコンドリアプラスミドの父性遺伝制御遺伝子同定に向けた連鎖地図の作成 ○大嶋雅夫1,2・半田裕一1,2(1. 筑波大学院生命環境2. 農業生物資源研)

P1-61	イネ第3染色体短腕に座乗する障害型耐冷性に関するQTL ○遠藤貴司1・中込弘二2・山口誠之2・片岡知守3・須藤充4・神田伸一郎4・小野泰一4(1. 宮城古川農試2. 東北農研3. 九沖農研4. 青森産技セ農林総研)
P1-62	ダイコンゲノム研究に向けた大量dot-blot-SNPマーカーの開発 長谷川陽一1・汐海沙知子1・李鋒1・藤井浩2・北柴大泰1・西尾剛1(1. 東北大院農学2. 果樹研究所)
P1-63	Phenotypic variations in root shape traits among F2 population and the parental lines in <i>Brassica rapa</i> L. ○H. Zaki1・横井修司1・三上孝治2・高畑義人1(1. 岩手大学農学部2. みかど協和研究開発本部)
P1-64	ラッカセイ栽培種におけるEST由来SSRマーカーの開発 ○内藤嘉磯1・鈴木茂2・長谷川誠2・渡邊学2・久保山勉3・磯部祥子4・佐藤修正4・白澤健太4・笹本茂美4・田畑哲之4(1. 三菱化学メディアエンス株式会社2. 千葉県農林総合研究センター3. 茨城大学4. かずさDNA研究所)
P1-65	DNAマーカーを用いたアスバラガス雌雄判別法の近縁種および種間雑種への応用 ○菅野明・今野格(東北大院生命科学)
P1-66	種子登熟期の温度に反応したイネの種子休眠性に関するQTL解析 ○手塚大貴・穴戸理恵子・野村和成(日本大学生物資源科学部)
P1-67	イネの大規模な遺伝子発現データに基づく発現制御ネットワーク構築 ○濱田和輝1・菊地俊介1・望月孝子2・倉田のり2・矢野健太郎1(1. 明治大・農・バイオインフォ2. 遺伝研・植物遺伝)
P1-68	Mapping of quantitative trait loci controlling mesocotyl elongation in Rice (<i>Oryza sativa</i> L.) H. Lee・佐々木和浩・東谷篤志・佐藤雅志(東北大学大学院生命科学研究所)
P1-69	イネの組織・器官別遺伝子発現プロファイル ○B. Antonio1・佐藤豊1・本山立子1・竹久妃奈子1・五十嵐元子1・杉本和彦2・長村吉晃1(1. 農業生物資源研究所ゲノムリソースセンター2. 農業生物資源研究所QTLゲノム育種研究センター)
P1-70	イネ胚乳形成初期で発現する遺伝子の探索 ○水谷征法・堤賢一・斎藤靖史(岩手大・農・寒冷バイオ)
P1-71	イネ登熟粒に存在するRNA結合タンパク質のプロテオーム的解析 ○佐野直人1・正木俊平1・七夕高也2・山田哲也1・金勝一樹1(1. 農工大院農2. 生物研)
P1-72	低温条件下で生育させたダイズの種子タンパク質のプロテオーム的解析 ○内田祐太1・船附秀行2・大西志全3・七夕高也4・山田哲也1・金勝一樹1(1. 農工大院農2. 農研機構北海道農研3. 道立中央農試4. 農工大院 BASE)

2日目発表 P2-01 から P2-71 奇数番号12:00~12:45, 偶数番号12:45~13:30

< 育種情報・データベース > P2-01

P2-01	イネ表現型データベースの構築と利用ツールの作成 (2) 代表的QTL・遺伝子の位置関係 ○米丸淳一・山本敏央・福岡修一・宇賀優作・堀清純・矢野昌裕(生物研)
-------	---

< 遺伝資源・系統分化 > P2-02 から P2-15

P2-02	農業生物資源ジーンバンク事業における植物遺伝資源の新配布体系 ○西川智太郎・D. Vaughan・友岡憲彦・奥泉久人・加賀秋人・福井邦明・富岡啓介・堅持文一・河瀬眞琴(農業生物資源研究所)
P2-03	アジアイネ在来品種におけるwx座対立遺伝子の多様化: 日本型品種からインド型品種へのwx遺伝子の移入 三上一保1,2・上床修弘1・池田祐志1・山口淳一1・平野博也3・鈴木保宏4・○佐野芳雄1(1. 北大院農2. 農研機構・食総研3. 東大院理4. 農研機構・作物研)
P2-04	組換えサツマイモの生物多様性影響評価手法の開発1.日本に自生・帰化する <i>Ipomoea</i> 属植物の収集とサツマイモとの交雑性 ○岡田吉弘・高畑康浩・吉永優(九州沖縄農研)
P2-05	マイクロトムを中心としたトマトバイオリソースの整備と利用 ○浅水恵理香1・有泉亨1・齊藤岳士1・青木考2・鈴木絢子3・矢野健太郎3・山崎由紀子4・溝口剛1・松倉千昭1・福田直也1・江面浩1(1. 筑波大院生命科学2. かずさDNA研3. 明治大農4. 国立遺伝研)
P2-06	ダイズBACライブラリーの新規な3次元プーリングシステム ○夏正俊1・渡辺啓史1・陳慶山2・佐藤修正3・原田久也1(1. 生物研2. 哈爾濱東北農業大学3. かずさDNA研究所)
P2-07	葉緑体DNAを指標としたイチゴの種内変異の分析 ○本城正憲1・片岡園1・由比進1・森下昌三1・國久美由紀2・矢野孝喜1・濱野恵1・山崎浩道1(1. 東北農業研究センター2. 野菜茶業研究所)
P2-08	コムギ近縁野生種 <i>Aegilops neglecta</i> - <i>Ae. columnaris</i> 種複合における遺伝的変異と地理的分布—倍数性、形態および雑種不稔性 ○大田正次1・藤田裕子1・前阪良和1・岩崎理恵1・森直樹2・H. Ozkan3(1. 福井県大生物資源2. 神戸大農3. トルコ・チュクロバ大農)
P2-09	易脱穀性二粒系コムギの葉緑体ゲノムの遺伝的変異 ○高木俊弥1・森直樹1・河原太八2・中村千春1(1. 神戸大農2. 京大農)
P2-10	コムギ近縁野生種 <i>Aegilops neglecta</i> および <i>Aegilops columnaris</i> の葉緑体ゲノムの多様性と自生地における地理的変異 ○八杉有香1・森直樹1・大田正次2(1. 神戸大農2. 福井県大生物資源)
P2-11	ヨシの種子繁殖後代にみられる変異について ○荒木哲朗1・小杉亜希2・清水顕史1・長谷川博1(1. 滋賀県大院環境科学2. 京大院農)
P2-12	炭酸塩処理を施したイネ科野生植物 <i>Chloris virgata</i> のEST解析 西内俊策1・○藤原一優1・柳参奎2・高野哲夫1(1. 東大アジアセンター2. 中国東北林業大学)
P2-13	オオサクラソウの北海道自生集団における核DNA含量の変異 金原理恵1・佐藤由佳2・林麻衣3・野上達也4・三位正洋3・○加藤淳太郎1・我妻尚広2(1. 愛知教育大学 生物2. 酪農学園大学3. 千葉大院 園芸4. 白山自然保護センター)
P2-14	低温下におけるテンサイの発芽特性 ○黒田洋輔・高橋宙之・田口和憲・岡崎和之・阿部英幸(農研機構・北農研)
P2-15	<i>Spinacia</i> 属植物の遺伝的類縁関係の解析 ○伊藤友輔・小野寺康之・三上哲夫(北大院農)

< 変異創成 > P2-16 から P2-39

P2-16	セルロース系エタノール生産に向けたセルラーゼ過剰発現イネの作成と解析 ○濁川睦・伊藤幸博(東北大学 大学院農学研究科)
P2-17	膜貫通型LRRプロテインキナーゼ遺伝子のホモログ <i>In29l</i> はアサガオの花弁老化に関与する ○李マイ1・鈴木智子1・清水圭一2・セタ高也3・篠崎良仁1・高橋彩佳1・渋谷健市4・市村一雄4・山田哲也1・金勝一樹1(1. 農工大院農2. 鹿児島大農3. 生物研4. 花き研)
P2-18	コムギ硬軟質に関わるfriabilin関連遺伝子群のイネへの導入と蓄積 ○鈴木剛1・和田幸雄1・和田英雄1・後藤公美1・中野亜紀子1・和田直樹2・梶山慎一郎3・福井希一2・向井康比己1(1. 大教大教養自然研究2. 阪大工学生命先端工学3. 近大生物理工学生物工学)
P2-19	Small RNAによる内生遺伝子GSA-ATのgene silencingについて ○葛西厚史・白松齡・原田竹雄(弘前大農学生命科学)

P2-20	イネ変異型アセト乳酸合成酵素遺伝子を選抜マーカーとして用いた効率的なオオムギの形質転換 ○小川泰一・川東広幸・半田裕一(生物研)
P2-21	液体培地を用いたアグロバクテリウム法による効率的イネ形質転換系の利用. III 形質転換プロセスの簡略化 ○小沢憲二郎・高岩文雄(農業生物資源研究所)
P2-22	ガンマ線照射によりイネに誘発された突然変異の解析 ○森田竜平1・草場信2・西村実1(1. 生物研放育場2. 広大院理)
P2-23	<i>Pelargonium</i> 属 <i>Hoarea</i> 節黄色花における花色と花色素との関係 ○P. Sukhumpinij1・柿原文香1・本藤加奈1・加藤正弘1(1. 愛媛大学大学院連合農学研究科2. 愛媛大学農学部3. 愛媛大学農学部4. 愛媛大学農学部)
P2-24	GAI mRNA transport in two directions between stock and scion in <i>Malus</i> ○徐海燕1・原田竹雄1・李天忠2(1. 弘前大農学生命科学2. 中国農業大学農学与生物技術)
P2-25	チャのカフェイン合成酵素遺伝子抑制のための形質転換法 ○蔭山夏美1・古川一実1・山田亜美2・柳田章2・常吉俊宏3(1. 沼津工業高等専門学校2. スズキ株式会社3. 静岡理科大学)
P2-26	MDA法によって増幅を行ったダイズ突然変異体ライブラリーを鋳型としたTILLING法による変異の検出 ○中島皓子・穴井豊昭(佐賀大学農学部)
P2-27	アグロバクテリウム法によるキュウリ形質転換系の改良と環境修復のための <i>relim</i> 遺伝子の導入 ○小長谷賢一1・奥崎文子1・七里吉彦1・津田麻衣1・石塚真祐子2・永田裕2・津田雅孝2・田部井豊1(1. 生物研2. 東北大院生命科学)
P2-28	致死性を示す <i>Nicotiana suaveolens</i> × <i>N. tabacum</i> の雑種実生における防御関連遺伝子の発現 ○野村茂樹1・篠崎良仁2・山田哲也2・金勝一樹2・丸橋亘1(1. 明治大農2. 農工大院農)
P2-29	<i>Brassica</i> 近縁野生種と <i>B. rapa</i> との雑種F ₁ 植物の育成における花粉親の影響 ○沈受玄・鄭凡喜・房相佑・金子幸雄(宇都宮大学農学部)
P2-30	<i>Zoysia japonica</i> と <i>Zoysia matrella</i> の交雑後代における形態形質の変異と休眠性 ○池崎美香1・田中秀典2・橋口正嗣2・中山拓也3・霍田真一3・磯辺祥子4・田畑哲之4・明石良2(1. 宮崎大院・農2. 宮崎大・フロンティア科学3. 宮崎大・農4. かずさDNA研究所)
P2-31	重イオンビーム照射により見いだされた「わい性子ガヤ」の特性と大量増殖 ○神川典子1・繁木雄一2・阿部知子3・権藤崇裕4・明石良4(1. 宮崎大院・農2. 富士化学株式会社3. 理化学研究所仁科センター4. 宮崎大・フロンティア科学)
P2-32	<i>Malus</i> におけるAux/IAA14転写物の篩管長距離輸送の解析 ○兼平杏美・山田かおり・原田竹雄(弘前大農学生命科学)
P2-33	ハマナデシコ1ゲノムを持つ異質4倍体カーネーションを花粉親とした交配における4倍体後代の優先的な出現 ○松原忍1・奥村義秀2・二村幹雄2・服部裕美2・三位正洋3・大石一史2・加藤淳太郎1(1. 愛知教育大学 生物2. 愛知県農総試3. 千葉大院 園芸)
P2-34	矮性トマト品種「マイクロトム」EMS突然変異誘発系統からのエチレン関連変異体の単離 ○岡部佳弘・浅水恵理香・有泉亨・江面浩(筑波大院生命環境)
P2-35	コナヒョウヒダニアレルゲンタンパク質(<i>der f2</i>)を発現させたイネ胚乳細胞における遺伝子産物の形態と局在 ○廣瀬咲子1・楊麗軍2・鈴木一矢3・高岩文雄2(1. 作物研究所2. 農業生物資源研究所3. 東京都臨床医学総合研究所)
P2-36	部位特異的組換え酵素遺伝子の雄性組織特異的プロモーター制御によるマーカーフリー個体の作出 ○宮原研三(農業生物資源研究所)
P2-37	チャの形質転換におけるアグロバクテリウム法とパーティクルガン法の比較 ○古川一実1・勝又良裕1・加藤美知代1・山田亜美2・柳田章2・常吉俊宏3(1. 沼津工業高等専門学校2. スズキ株式会社3. 静岡理科大学)
P2-38	重イオンビーム照射によって誘発したイネ突然変異体の解析 ○林依子1・竹久妃奈子1・風間裕介1・大部澄江1・東海林英夫1・佐藤雅志2・阿部知子1(1. 理研仁科センター2. 東北大院生命科学)
P2-39	重イオンビームの異核種同LET照射におけるDNA変異の比較 ○平野智也1・風間裕介1・Y. Liu2・大部澄江1・林祐子1・林依子1・松山知樹3・阿部知子1(1. 理研・仁科センター2. Inst. Modern Phys., Chin. Acad. Sci.3. 理研・植物細胞育種研究ユニット)

<品質成分> P2-40 から P2-57

P2-40	酒造好適米における糊化特性の評価 ○岡本和之・小菅一真・眞部徹・平山正賢(茨城県農業総合センター生物工学研究所)
P2-41	ホスホリパーゼDが欠失した変異体におけるコム脂質貯蔵組織の特徴 ○鈴木保宏 ¹ ・松田智明 ² ・白澤健太 ^{1,3} ・岩澤紀生 ^{1,2} (1. 農研機構・作物研2. 茨城大学農学部3. 現:かずさDNA研)
P2-42	CE-MSを用いた炊飯米の呈味成分の解析 ○後藤元 ¹ ・佐野智義 ² ・大友一子 ^{1,3} ・曾我朋義 ¹ ・結城和博 ² (1. 慶大先端研2. 山形県農総研セ水田農試3. 現 スパイバー(株))
P2-43	サツマイモでん粉の低温糊化性の遺伝解析 ○片山健二 ¹ ・田宮誠司 ² ・境哲文 ¹ ・甲斐由美 ¹ ・吉永優 ¹ (1. 農研機構・九州沖縄農研2. 農研機構・北海道農研)
P2-44	炊飯米特性を指標とした「ササニシキ」型良食味品種の選抜 ○永野邦明 ¹ ・佐々木都彦 ¹ ・我妻謙介 ¹ ・遠藤貴司 ¹ ・鈴木啓太郎 ² ・岡留博司 ² ・大坪研一 ³ (1. 宮城古川農試2. 食総研3. 新潟大農学部)
P2-45	オオムギ属の第五群染色体添加によるコムギ子実硬度の低下効果 ○高田兼則 ¹ ・谷中美貴子 ¹ ・池田達哉(近中四農研)
P2-46	茎葉利用サツマイモ「すいおう」の機能性成分含量の収穫時期、部位および貯蔵による変動 ○石黒浩二 ¹ ・外山潤 ² ・山川理 ³ ・吉元誠 ¹ (1. 農研機構 九州沖縄農業研究センター2. 宮崎大フロンティア科学3. 社団法人農林水産先端技術産業振興センター)
P2-47	オオムギ穀粒における胚乳細胞壁と硬軟質性の関係 ○塔野岡卓司 ^{1,2} ・青木恵美子 ¹ ・吉岡藤治 ¹ ・藤田雅也 ^{1,3} ・乙部千雅子 ^{1,2} (1. 農研機構作物研2. 筑波大生命環境科学3. 農研機構九州沖縄農研)
P2-48	水稲粉質米品種「北海303号」の原因遺伝子の解析 ○松葉修一 ¹ ・船附稚子 ¹ ・黒木慎 ¹ ・横上晴郁 ¹ ・清水博之(農研機構・北海道農研)
P2-49	Comparative Characterization of Novel Glutenin Proteins in Common Bread Wheat (<i>Triticum aestivum</i> L.) ○M. Abuhena ¹ ・金基現 ¹ ・申光鉉 ¹ ・舒形錫 ¹ ・平野久 ² ・朴鐵修 ³ ・許化英 ⁴ ・辻本 久 ⁵ ・寓仙熙 ¹ (1. Department of Crop Science, Chungbuk National University 2. Department of Supramolecular Biology, Yokohama City University 3. Agricultural Research Institute, National Institute of Crop Science, Korea 4. Breeding Resource Development, National Institute of Crop Science, Korea 5. Faculty of Agriculture, Lab. of Plant Genetics and Breeding Science, Tottori University)
P2-50	低アミロース米準同質遺伝子系統における異なる登熟気温でのアミロース含有率変動の系統間差異 ○森山茂治 ¹ ・神田伸一郎 ¹ ・小野泰一 ¹ ・今智穂美 ¹ ・須藤充(青森県産業技術センター農林総合研究所)
P2-51	日本の小麦品種における子実カドミウム含量と各種子実成分との関係 ○松中仁 ¹ ・関昌子 ¹ ・木村和彦 ² ・久保堅司 ³ ・藤田雅也 ³ ・蝶野真喜子 ¹ ・乙部千雅子 ¹ ・小島久代 ¹ ・小田俊介 ¹ (1. 農研機構 作物研2. 宮城大学3. 農研機構 九沖農研)
P2-52	環境ストレス耐性遺伝子組換えジャガイモのグリコアルカロイド含量 ○S. Kahn ¹ ・中城治之 ¹ ・島崎高嘉 ¹ ・山田小那弥 ¹ ・繁森英幸 ¹ ・菊池彰 ¹ ・渡邊和男(筑波大院生命環境)
P2-53	Effect of Light and Dark Condition on Rutin, Quercetin and Protein Density in Buckwheat Sprouts ○申東勳 ¹ ・鈴木達郎 ⁴ ・足立泰二 ⁵ ・以門順 ² ・釘根旭 ³ ・韓命解 ¹ ・金弘植 ¹ (1. Department of Crop Science, Chungbuk National University 2. Department of Industrial Plant, Chungbuk National University 3. Department of Agricultural Chemistry Chungbuk National University 4. Plant Genetic Resources Laboratory, National Agriculture Research Center for Hokkaido Region 5. 元大阪府立大学先端科学研究所)
P2-54	黒大豆「新丹波黒」のインフラボン含量向上にむけた遺伝育種学的研究 ○南山泰宏 ¹ ・古谷規行 ² (1. 京都農技セ生資セ2. 京都農技セ)
P2-55	水稲新品種「つや姫」の食味特性評価 第1報 物理的測定による炊飯米の評価 ○森谷真紀子 ¹ ・浅野目謙之 ² ・鈴木啓太郎 ³ (1. 山形県農業総合研究センター水田農業試験場2. 山形県農業総合研究センター3. 食品総合研究所)
P2-56	オオムギ穀粒硬度関連遺伝子 <i>Hina.Gsp</i> の品種・系統間における変異 ○高橋飛鳥 ¹ ・池田達哉 ¹ ・長嶺敬 ¹ ・柳沢貴司(近中四農研センター)
P2-57	採取時期がサツマイモ葉身部のカフェ酸誘導体含量に及ぼす影響 ○甲斐由美 ¹ ・片山健二 ¹ ・境哲文 ¹ ・吉永優(九州沖縄農研)

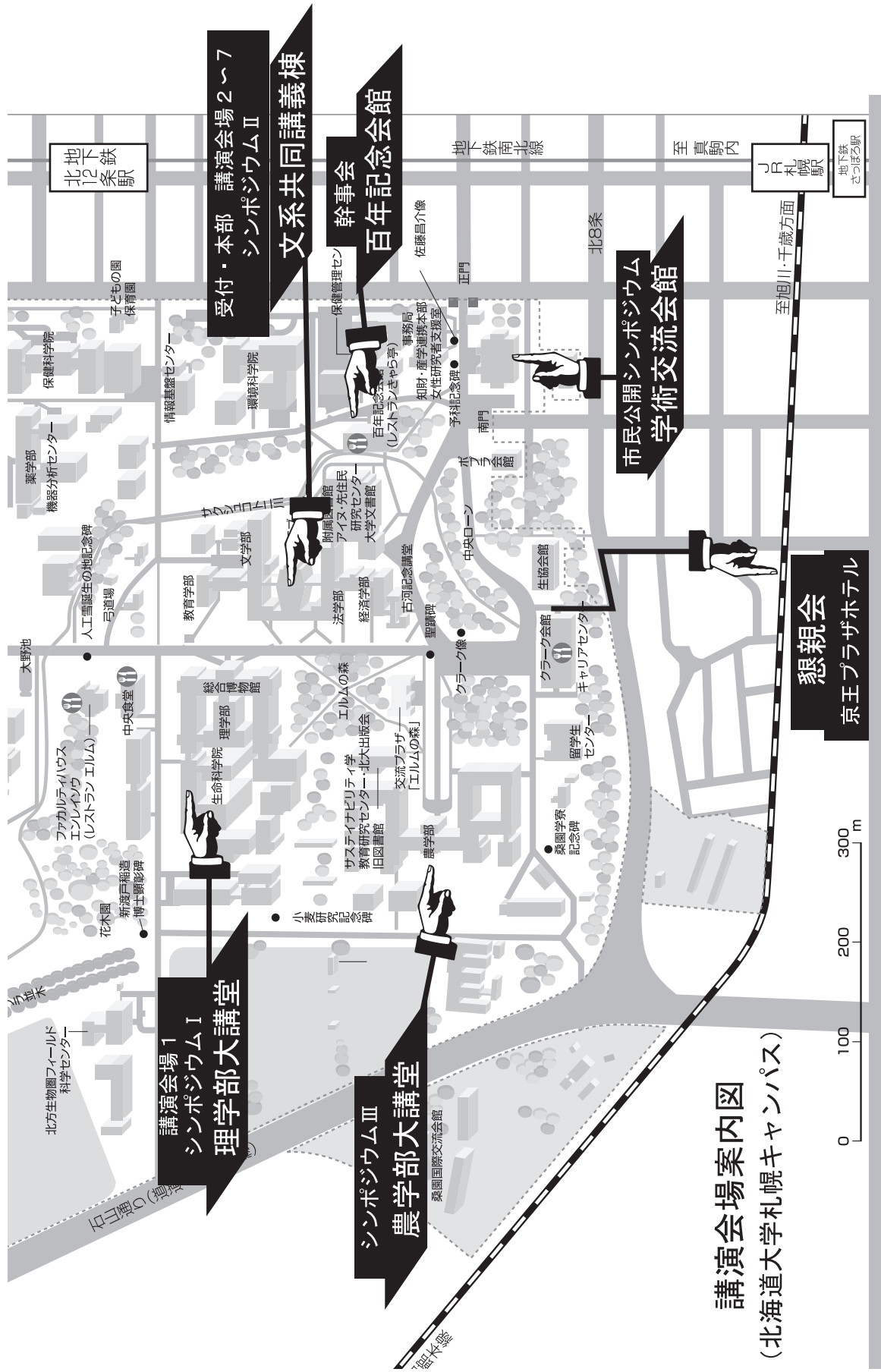
< 増殖・生殖 > P2-58 から P2-71

P2-58	<p>コムギ系統「U24」における閉花受粉性の要因 ○藤田雅也1・渡辺好昭2・久保堅司1・八田浩一1・小田俊介3・松中仁3(1. 農研機構・九州沖縄農研2. 農研機構・中央農研3. 農研機構・作物研)</p>
P2-59	<p>イネコアコレクションおよび野生籾を用いたBT型細胞質雄性不稔性原因遺伝子 <i>orf79</i> の多様性 ○山田茉莉1・藤井壮太2・鳥山欽哉1(1. 東北大院農2. ARC Centre of Excellence in Plant Energy Biol, U.Western Australia)</p>
P2-60	<p>マクロアレイ解析によるテンサイOwen型細胞質雄性不稔の発現に関わる核遺伝子の探索 ○小野克・松平洋明・久保友彦・三上哲夫(北海道大学大学院農学院)</p>
P2-61	<p>インディカ品種イネKasalath由来のBT型CMSに対する稔性回復遺伝子の解析 ○板橋悦子・鳥山欽哉(東北大院農)</p>
P2-62	<p>テンサイおよびBeta属植物におけるRf1相同遺伝子の構造比較 ○松本拓真・亀井陽子・濱口祐子・久保友彦・三上哲夫(北大院農)</p>
P2-63	<p>テンサイ葉片培養におけるカルス形成及び再分化に関するダイアレル分析 ○鏡豊代1・久保友彦1・田口和憲2・三上哲夫1(1. 北海道大学大学院農学院2. 北海道農業研究センター)</p>
P2-64	<p>クラブアップル「カラフトズミ」における自家結実性と自家不和合性遺伝子の特徴 ○庭田靖子1・佐藤奈美子2・高橋秀和1,2・渡辺明夫1,2・赤木宏守1,2・和田雅人3・阿部和幸3・櫻井健二1,2(1. 秋田県立大院生物資源2. 秋田県立大生物資源3. 農研機構果樹研)</p>
P2-65	<p>dot-blot法を用いたBrassica属S1ハプロタイプ選抜技術の改良 ○及川恵里子・北柴大泰・西尾剛(東北大学大学院農学研究科)</p>
P2-66	<p>オグラ型雄性不稔に対するハツカダイコンの稔性回復遺伝子座のゲノム構造と変異 ○富岡関子・安本景太・山岸博・寺地徹(京産大工)</p>
P2-67	<p>温室および圃場における種間雑種 (<i>Brassica juncea</i> × <i>B. napus</i>) と後代の環境適応度 ○津田麻衣1・小長谷賢一1・奥崎文子1・金子幸雄2・田部井豊1(1. 生物研2. 宇大農)</p>
P2-68	<p><i>Zoysia matrella</i> における茎節腋芽を用いた効率的な培養法 ○権藤崇裕・明石良(宮崎大学フロンティア科学実験総合センター)</p>
P2-69	<p>同種緩衝帯を利用したアカクローバ花粉の拡散制御 ○奥村健治1・陳俊1,2・塩見正衛3・高田寛之1・廣井清貞1(1. 北海道農業研究センター2. 西北農林科技大学3. 茨城大学)</p>
P2-70	<p>普通ソバにおける異形花型自家不和合性の解析. I. 自家和合性突然変異体の単離と遺伝学的解析 ○相井城太郎1・小山絵美2・櫻井美仁1・平岡昇1・長野美緒3・C. Campbell3(1. 新潟薬科大学応用生命科学2. 岡大資生研3. KADE研究所)</p>
P2-71	<p>普通ソバにおける異形花型自家不和合性の解析. II. S1ハプロタイプ特異的遺伝子の探索 ○船木武人1・佐藤真吾1・小島史代1・平岡昇1・長野美緒2・C. Campbell2・相井城太郎1(1. 新潟薬科大学応用生命科学2. KADE研究所)</p>

講演会場へのアクセス



大学構内への一般車両の進入は厳しく制限されております。



講演会場1
シンポジウムI
理学部大講堂

シンポジウムII
農学部大講堂

受付・本部 講演会場2〜7
シンポジウムII

文系共同講義棟

幹事会
百年記念会館

市民公開シンポジウム
学術交流会館

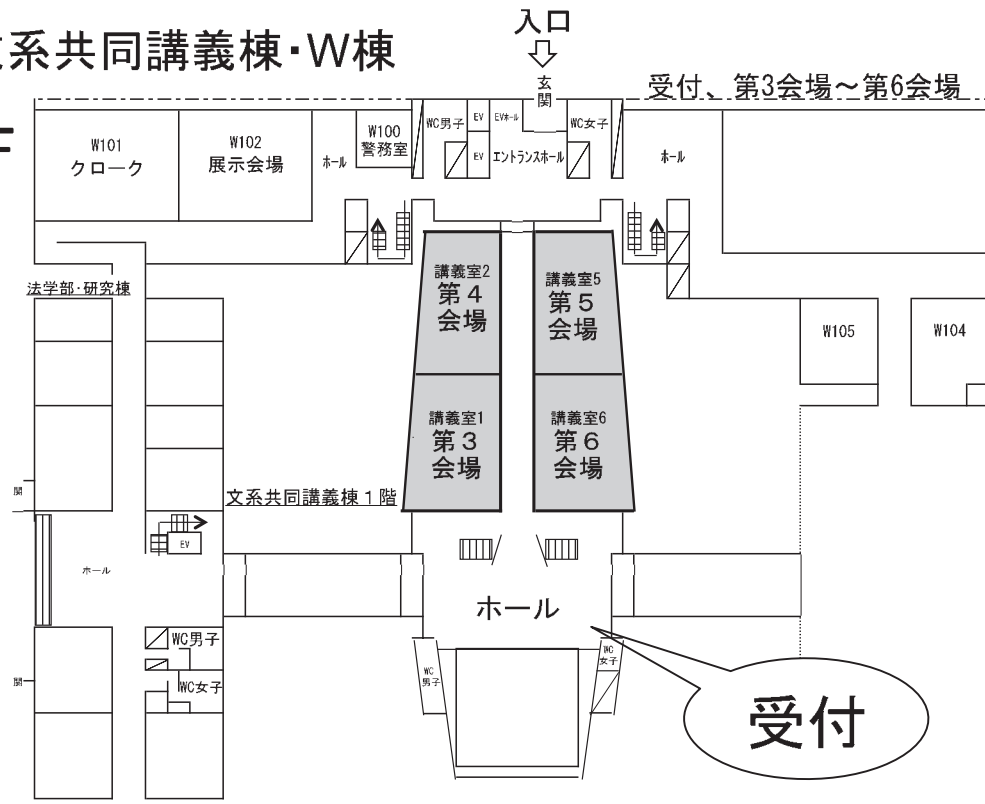
懇親会
京王プラザホテル

講演会場案内図
(北海道大学札幌キャンパス)

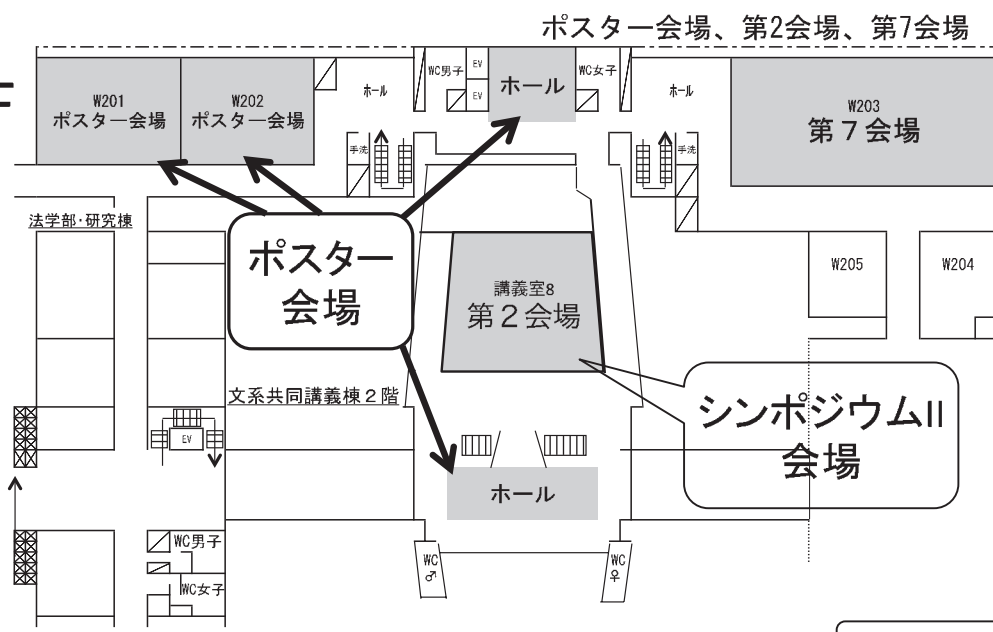


文系共同講義棟・W棟

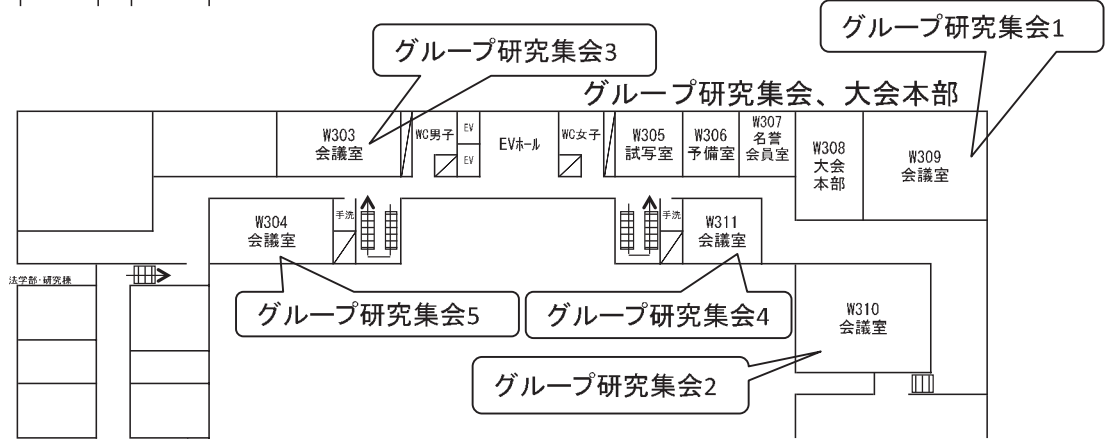
1F



2F



3F

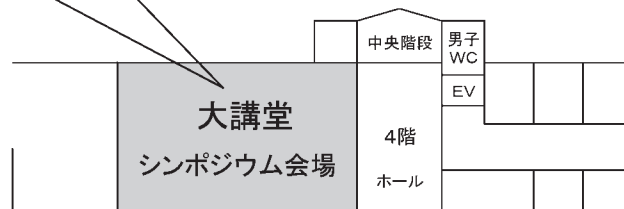


第1会場
シンポジウムⅠ会場
理学部大講堂



シンポジウムⅢ会場
農学部本館大講堂

4階平面図



農学部正面玄関の階段を上る

(他の階段では行けません)

